TN50873㋐

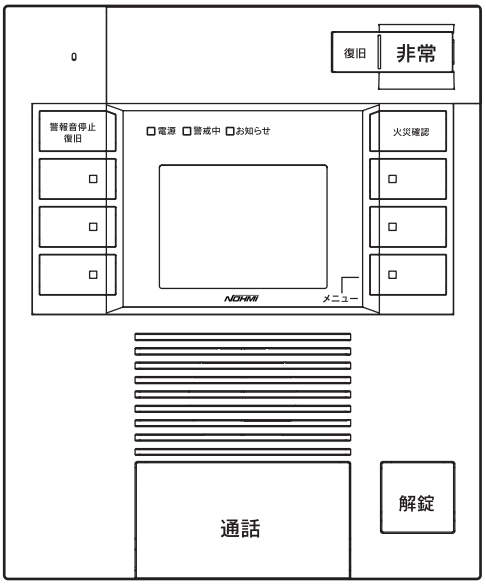
NOHMI

リサスタンダードシステム
リサ複合盤システム
コンフィー
（カラーモニター付住宅情報盤）

お客様用

取扱説明書

HAPGJ302-U
HAPGJ303-U
HAPGJ304-U
HAPGJ305-U



絵はHAPGJ303-UまたはHAPGJ305-Uです。

警告

製品を安全かつ正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書および、本製品に添付されたタグカードを必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも製品の不明点を解決できるように、大切に保管してください。

能美防災株式会社

目次

1.安全上のご注意 ……4
2.設備された機器の構成 ……5
3.各部の名称とはたらき ……6
4.ご使用方法(インターホン機能)
■通話に関するご注意……8
■通話機能の呼出音と表示 ……8
■集合玄関機より呼出しを受け、オートドアを開けない場合 ……8
4-1.呼出しと通話方法
■集合玄関機より呼出しを受け、オートドアを開ける場合 ……9
■ドアホンより呼出しを受けた時 ……10
■管理室より呼出しを受けた時……10
■管理室を呼出す時 ……10
■カラーモニター付増設インターホンから呼出しを受けた時 ……11
■カラーモニター付増設インターホンを呼出す時 ……11
■通話中に他の場所から呼出された時 ……11
■情報を受信している時 ……12
■建物の宅配ボックスに荷物が着いた時 ……12
■管理室からメッセージがある場合 ……12
5.ご使用方法(セキュリティー・生活情報)
■警報時のカラーモニター付住宅情報盤とドアホンの動作 ……13
■複数の警報を受信している時 ……13
5-1-1.火災警報時の対応(HAPGJ302およびHAPGJ304の場合)
■火災発生時(火災警報)……14
■近隣から火災が発生した場合 ……15
■非火災報の場合 ……15
■火災感知器が断線した場合 ……15
5-1-2.火災警報時の対応(HAPGJ303およびHAPGJ305の場合)
■火災発生時(火災警報)……16
■近隣から火災が発生した場合 ……17
■非火災報の場合 ……17
■火災感知器線が断線した場合……17
5-2.ガスもれ警報時の対応
■ガスもれ発生時……18
■ガス漏れ検知器が故障した場合……18
5-3.非常時の対応
■緊急事態を外部に知らせる時(非常通報)……19
5-4.防犯警報時の対応
■防犯警報の暗証番号登録について ……19
■防犯のセット……20

目次

■警戒状態の確認 ……21
■防犯警戒の解除のしかた ……21
■防犯警報時 ……22
■防犯警報の復旧方法 ……22
5-5.換気警報時の対応
■室内の換気をうながす換気警報 ……23
5-6.コール警報（呼出し）時の対応
■トイレコール（トイレからの呼出し）……23
■バスコール（お風呂からの呼出し）……24
■コールボタンを設置した場所からの呼出し ……24
6.シミュレーション機能
■シミュレーション（警報の体験・試聴）……25
7.設定
■暗証番号の登録 ……26
■暗証番号の変更 ……28
■暗証番号の消去 ……30
■呼出音量の設定 ……32
■呼出音の設定 ……33
■呼出鳴動回数の設定 ……34
■メニュー画面の調整 ……35
■警戒メッセージの設定 ……36
■初期化実行 ……37
■通話中の画面調整 ……38
■設定書き込みシート ……39
8.録画機能（HAPGJ302-U-V、HAPGJ303-U-V、HAPGJ304-U-VおよびHAPGJ305-U-Vの場合）
8-1.録画・録音 ……40
■カメラ付集合玄関機またはカメラ付ドアホンから呼出しを受けた時 ……41
■不在時にカメラ付集合玄関機またはカメラ付ドアホンから呼出しを受けた時の動作 ……42
■録画・録音の再生 ……42
■再生画面（各ボタンの機能と動作）……43
8-2.管理室伝言
■管理室より呼出しを受けた時の自動録音 ……44
■管理室からの伝言再生 ……44
■伝言再生画面（各ボタンの機能と動作）……45
8-3.時刻の設定
■時刻の設定方法 ……46
9.機器定格 ……47
10.日常点検のお願い ……49
11.アフターサービスについて ……50

1 安全上のご注意

■安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。記載内容を充分に理解し、必ず指示された内容に従ってください。

危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした時に想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

「危険」：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは機器の機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される内容。

「警告」：取扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うかまたは機器の機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

「注意」：取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うかまたは機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

絵表示の見方

左の記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

左の記号は、禁止の行為を告げるものです。

左の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 危 険

ガス漏れ検知器が発報した場合は、火を消してガスの元栓を締め、ガス会社に連絡してください。また、火気や静電気を発生するものを近づけたり、換気扇など電気機器のスイッチをON・OFFすると爆発の危険があります。自然換気を行ってください。

⚠ 警 告

機器内部には電圧がかかっている部分がありますので、本体を開けないでください。感電の原因となります。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

機器に液体（水、洗剤、飲み物など）を入れたり、ぬらさないようにしてください。感電・故障・発火の原因となります。

ガス漏れ検知器は有効期限があります。期限が来たらお取り替えください。ガスもれの発見ができなくなります。

⚠ 注 意

機器の操作は必ず手で行ってください。手以外のものでは確実な操作ができず、また機器を破損することがあります。

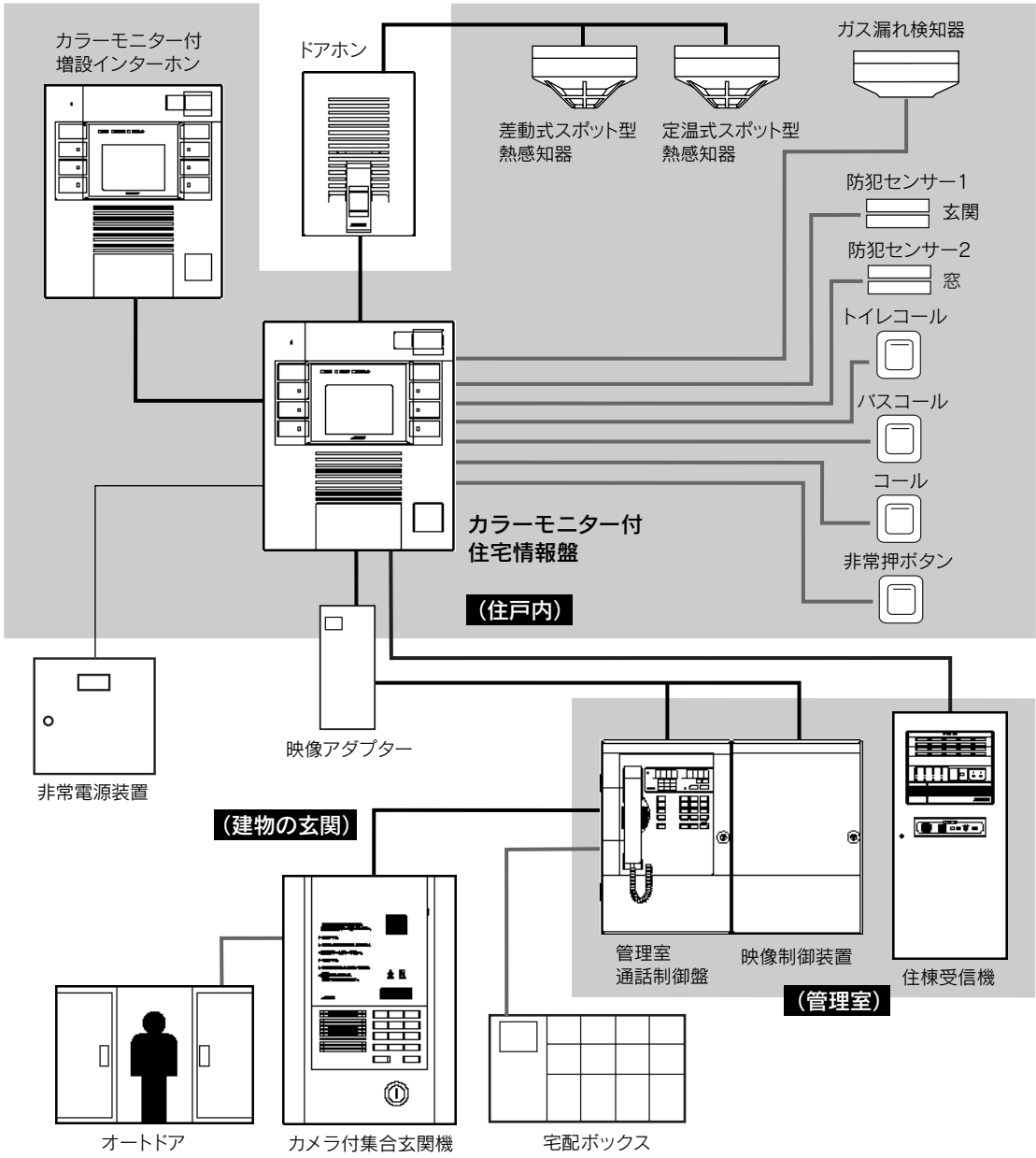
火災感知器の下で多量の煙、蒸気または高熱を発するものを使用しないでください。非火災報（火災でない場合でも、煙濃度や温度が火災感知器の感知レベルに達した場合に作動すること）の原因になります。

停電して、カラーモニター付住宅情報盤の電源灯（緑）が消灯している場合は、本機は使用できません。 ※非常電源が備わっている場合は、停電時に電源灯は点滅し、火災および防犯関連機能は動作しますが、インターホンなどその他の機能は使用できません。

携帯電話、無線機などを近くで使用すると、誤動作の原因となることがあります。

2 設備された機器の構成

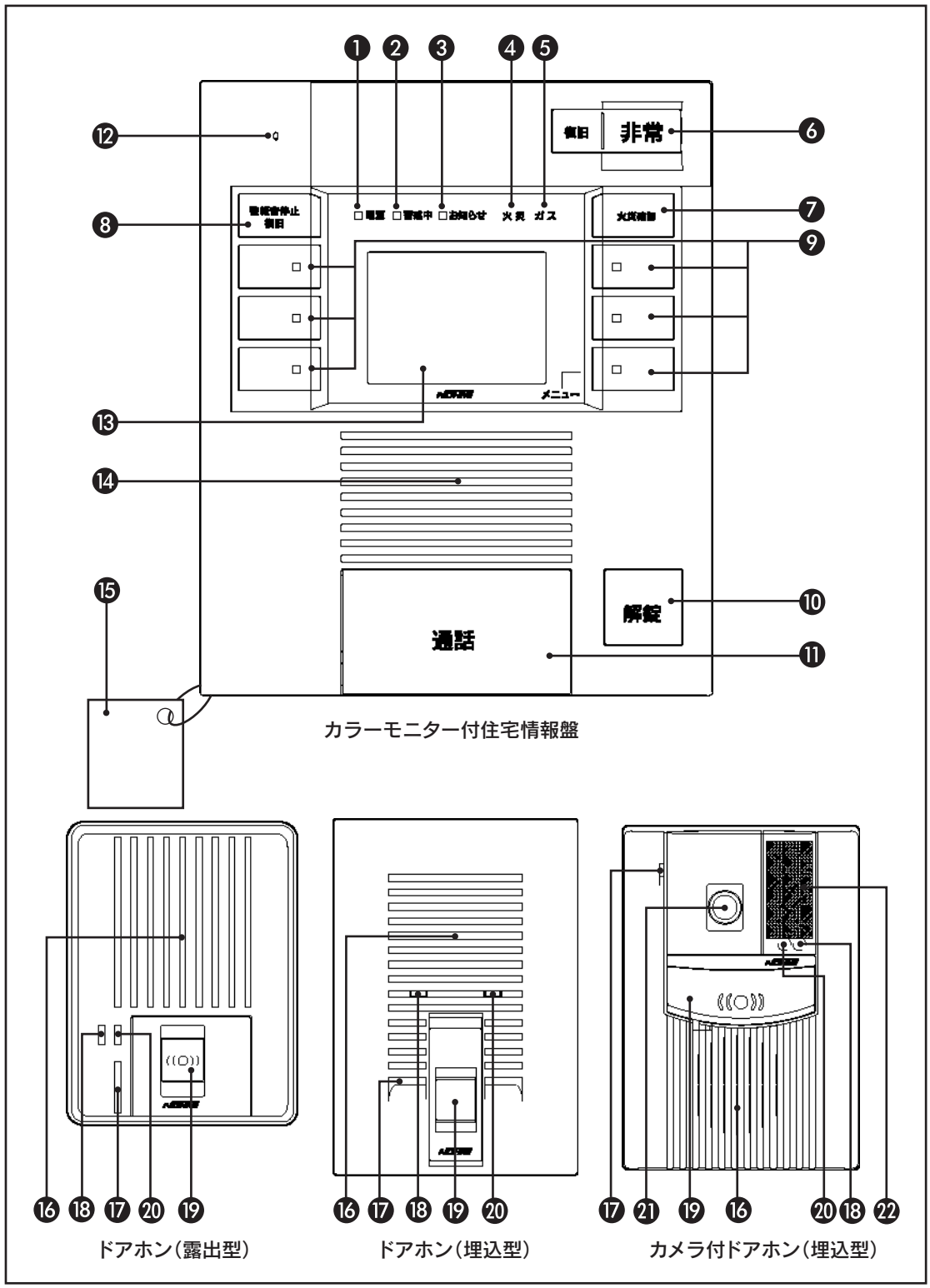
設置されたカラーモニター付住宅情報盤は、通話機能として、・住戸の玄関子機（ドアホン）・建物のカメラ付集合玄関機・管理室・室内のカラーモニター付増設インターホンと通話ができます。
また、セキュリティー機能として、・火災警報・ガスもれ警報・非常通報・防犯警報の各警報を管理室に通報できます。さらに、・トイレコール・バスコール・その他のコールなどの生活情報サービス機能が付加されています。
これらの機能は、設備されるシステムにより使用できないものもあります。使用できる機能については、下図のシステム例および、カラーモニター付住宅情報盤に添付されている「タグカード」を参考に、設備されている機器をご確認ください。



※この取扱説明書は、上図のシステム例の「カラーモニター付住宅情報盤」に関するものです。
その他の関連機器のご使用方法は、各機器に添付された取扱説明書をご確認ください。
※設備はお住まいのマンションにより異なります。

3 各部の名称とはたらき

設置されたカラーモニター付住宅情報盤は、接続機器により機能および使用方法が異なります。
この取扱説明書で説明する機能の中で、使用できないものもありますので、機能表示をご確認のうえ、ご使用ください。



カラーモニター付住宅情報盤

ドアホン（露出型）

ドアホン（埋込型）

カメラ付ドアホン（埋込型）

3 各部の名称とはたらき

カラーモニター付住宅情報盤の火災灯(❹)とガス灯(❺)は、システムが作動して警報機能が働いた場合のみ表示します。

カラーモニター付住宅情報盤

❶ **電源灯**…… 電源が入っている時、緑色に点灯し、非常電源時に緑色に点滅します。

❷ **警戒中灯**…… 防犯警戒中、緑色に点灯します。
(※玄関、窓などに防犯センサーが設置されていなければ動作しません。)

❸ **お知らせ灯**…… 宅配ロッカー着荷などの情報が発生した時、橙色で点滅します。

❹ **火災灯**…… 火災感知器が作動した時、赤色で点滅します。

❺ **ガス灯**…… ガス漏れ検知器が作動した時、黄色で点滅します。

❻ **非常押ボタン**…… 緊急事態を管理室およびドアホンに通報する時に押します。

❼ **火災確認ボタン**…… 火災発生を管理室およびドアホンに通報する時に押します。
(※HAPGJ303およびHAPGJ305のみ)(※このボタンは火災感知器作動時のみ有効となります。)

❽ **警報音停止／復旧ボタン**… 警報音を停止する時に押します。

❾ **選択ボタン**…… モニターに表示された項目の選択/決定およびメニュー画面を表示するときに押します。

❿ **解錠ボタン**…… 建物の集合玄関(オートロック)の電気錠を解錠する時に押します。

⓫ **通話ボタン**…… 通話を開始･終了する時に押します。

⓬ **マイク**…… 通話に使用します。

⓭ **カラーモニター**…… 来客者の映像、警報、メニューを表示します。

⓮ **スピーカー**…… 呼出音、通話音声、警報音が鳴ります。

⓯ **タグカード**…… 取扱方法概略が記載されています。

ドアホン

⓰ **スピーカー**…… 室内との通話および警報が鳴ります。

⓱ **マイク**…… 室内との通話に使用します。

⓲ **通電表示灯**…… 通電中は、緑色に点灯しています。

⓳ **呼出ボタン**…… 室内を呼出すときに押します。

⓴ **警報表示灯**…… 警報時に赤色で点滅します。

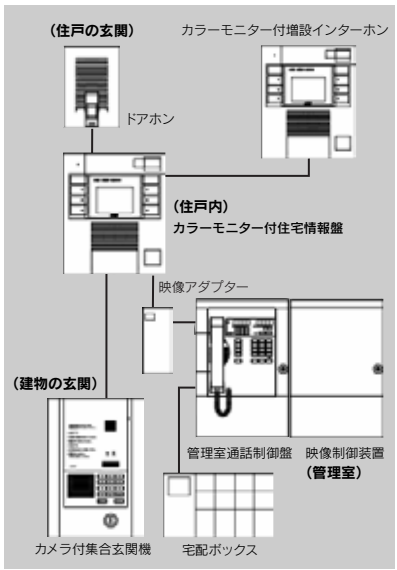
㉑ **カメラ**…… 通話時に玄関先の様子を映します。

㉒ **LED照明**…… 夜間に呼出ボタンを押すと点灯します。

4 ご使用方法（インターホン機能）

■通話に関するご注意

・電源（AC100V）の専用ブレーカーを落とさないでください。各警報およびカメラ付集合玄関機・ドアホンとの通話ができなくなります。
・通話する際、カラーモニター付住宅情報盤から離れすぎると音声が聞き取りにくくなることがあります。
・カラーモニター付住宅情報盤とカメラ付集合玄関機・ドアホンのまわりの騒音が大きい時は、音声がとぎれて聞き取りにくくなることがありますので、騒音が大きい時は大きな声で話をしてください。
・カラーモニター付住宅情報盤とカメラ付集合玄関機・ドアホンで通話する時は、相手の話が終わらないうちに話すと、声がとぎれて聞こえることがあります。相手の話が終わったところで話すとスムーズな会話ができます。



※設備はお住まいのマンションにより異なります。

カラーモニター付住宅情報盤には、建物の玄関、管理室やお住まいの玄関など、離れたところと通話ができるインターホン機能が備わっています。
※カラーモニター付増設インターホンが通話中の時は、【室内　使用中】の文字を表示してインターホン機能を使用できません。
※集合玄関機およびドアホンからの呼出しは、呼出音により判別できるようにセットされていますので、あらかじめ確認しておいてください。

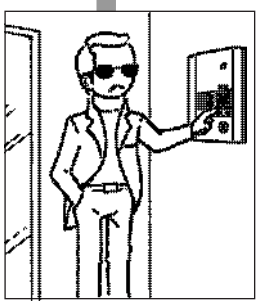
■通話機能の呼出音と表示

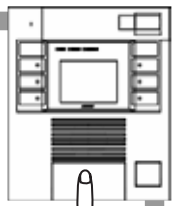
呼出し元	呼出音（初期設定）	モニター表示
ドアホン	ピンポーン　ピンポーン	**ドアホン**
集合玄関機	ピーンポーン　ピーンポーン	**集合玄関**
カラーモニター付増設インターホン	プー	**室内**
管理室	ピンポンパン	**管理室**

※呼出音は変更することができます。P33[呼出音の設定]、P34[呼出音鳴動回数の設定]をお読みください。
※こちらから呼出しできる相手先は、室内のカラーモニター付増設インターホンと管理室です。（お住まいのマンションにより呼出しできないことがあります。）

建物のオートドアは、安全確保のため、集合玄関機のインターホンで来訪者、用件を確認したうえで、開ける（または開けない）ことができます。

■集合玄関機より呼出しを受け、オートドアを開けない場合





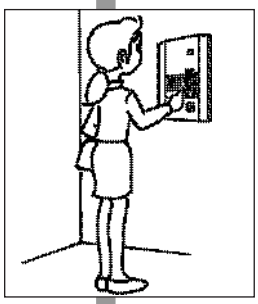
1 ●呼出音〈**ピーンポーン　ピーンポーン**〉が鳴ります。
●来訪者映像がモニターに映り、**【集合玄関】**の文字を表示します。

2 ◎「**通話**」ボタンを押して通話し、用件を確認します。
●通話中は**【通話中】**の文字を表示します。
※通話したくない場合は、「**通話**」ボタンを押さないでください。約45秒経過するとモニター表示が消えて呼出状態が終了します。

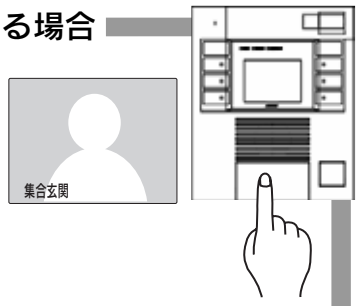
3 ◎通話が終わったら、再度「**通話**」ボタンを押します。
●通話が終了し、モニター表示が消えます。
※「**通話**」ボタンを押し忘れても約3分後、自動的に終了します。
※「**解錠**」ボタンを押さなければ、オートドアは開きません。
※集合玄関機がカメラ付でない場合は、来訪者映像は映りません。

4-1 呼出しと通話方法

■集合玄関機より呼出しを受け、オートドアを開ける場合

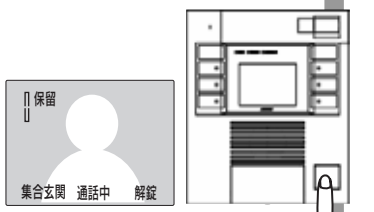


1
- ●呼出音〈**ピーンポーン　ピーンポーン**〉が鳴ります。
- ●来訪者映像がモニターに映り、**【集合玄関】**の文字を表示します。



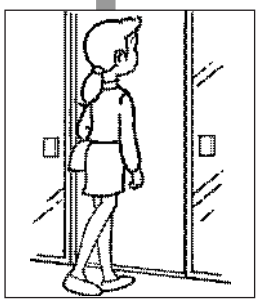
2
- ◎「**通話**」ボタンを押して通話します。
- ●通話中は**【通話中】**の文字を表示します。

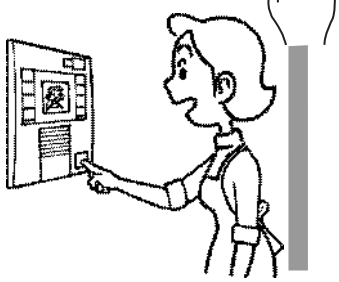
3
- ◎「**解錠**」ボタンを押します。
- ●**【解錠】**の文字を約5秒間表示します。



4
- ○オートロックが解錠されます。
- ●「**解錠**」ボタンを押してから約5秒後に通話は自動的に終了し、モニター表示が消えます。

※集合玄関機がカメラ付でない場合は、来訪者映像は映りません。



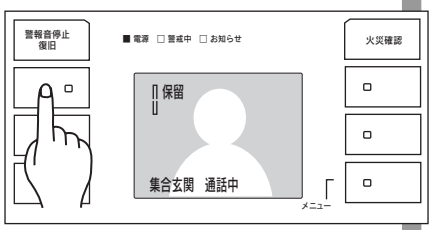


※便利な機能

1 保留機能

通話中でも保留機能を使えば、通話先に聞かれずに部屋内で会話することができます。

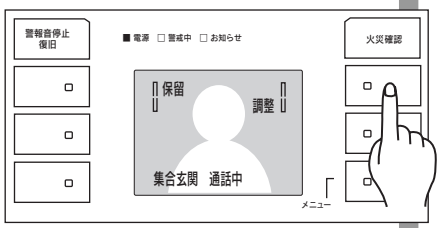
◎通話中に**【保留】**のボタンを押すと**【通話中】**が**【保留中】**に切り替り、保留音〈**ピロリロピロリロ･･･**〉が鳴ります。「**通話**」ボタンを押せば通話に戻ります。



2 画面調整機能

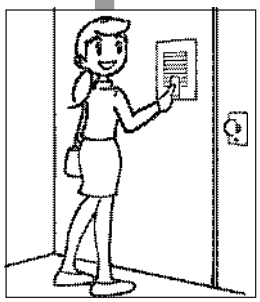
通話中に映像を見ながら、来訪者映像の画質をお好みの輝度とカラーに調整することができます。

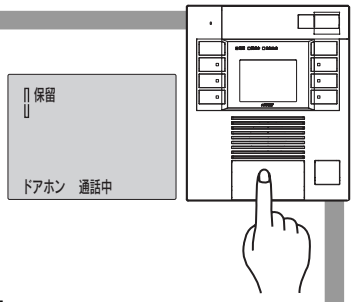
※来訪者映像の画質調整方法は、P38［**通話中の画面調整**］をお読みください。



4-1 呼出しと通話方法

■ドアホンより呼出しを受けた時



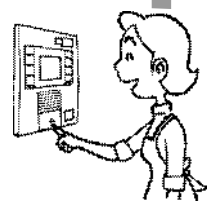


1 ●呼出音〈**ピンポーン　ピンポーン**〉が鳴ります。
●**【ドアホン】**の文字を表示します。

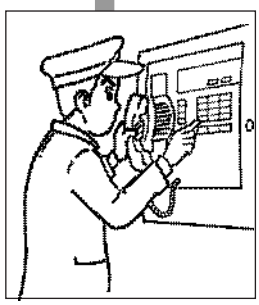
2 ◎「**通話**」ボタンを押して通話します。
●通話中は**【通話中】**の文字を表示します。

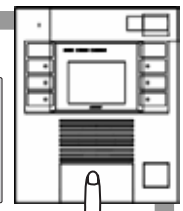
3 ◎通話が終わったら、再度「**通話**」ボタンを押します。
●通話が終了し、モニター表示が消えます。
※「**通話**」ボタンを押し忘れても約3分後、自動的に終了します。

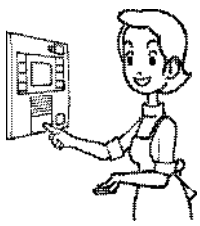
※ドアホンがカメラ付の場合は映像も映ります。



■管理室より呼出しを受けた時







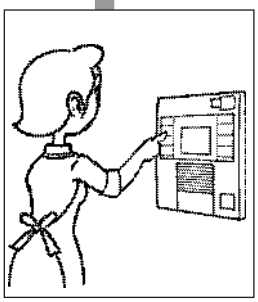
1 ●呼出音〈**ピンポンパン**〉が鳴ります。
●**【管理室】**の文字を表示します。

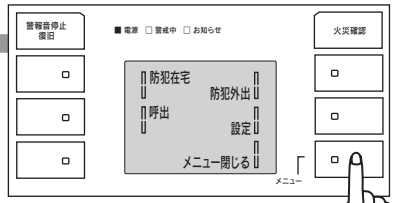
2 ◎「**通話**」ボタンを押して通話します。
●通話中は**【通話中】**の文字を表示します。

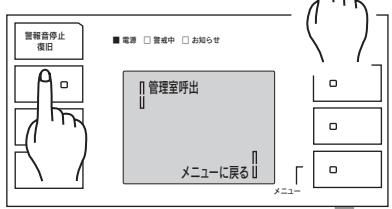
3 ◎通話が終わったら、再度「**通話**」ボタンを押します。
●通話が終了し、モニター表示が消えます。
※「**通話**」ボタンを押し忘れても約3分後、自動的に終了します。

■管理室を呼出す時

※お住まいのマンションにより呼出しできないことがあります。







1 ◎**【メニュー】**のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎メニュー画面より**【呼出】**のボタンを押します。
●呼出先の選択画面を表示します。
※「**通話**」ボタンを押して呼出先の選択画面を表示することもできます。

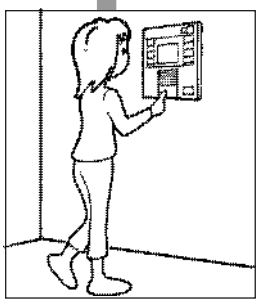
3 ◎**【管理室呼出】**のボタンを押します。
●**【管理室　呼出中】**の文字を表示して管理室を呼出します。
●呼出中は、呼出音〈**ピンポンパン**〉が鳴ります。

4 ●管理室が受話器を取ると**【管理室　通話中】**の文字を表示して通話することができます。
※管理室が受話器を取らず45秒経過すると呼出が終了します。

4-1 呼出しと通話方法

■カラーモニター付増設インターホンから呼出しを受けた時

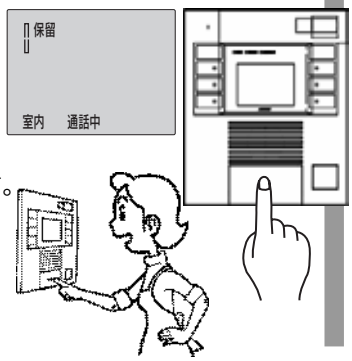
※カラーモニター付増設インターホンが設置されている時のみ動作します。



1 ●呼出音〈**プー**〉が鳴ります。
●【**室内**】の文字を表示します。

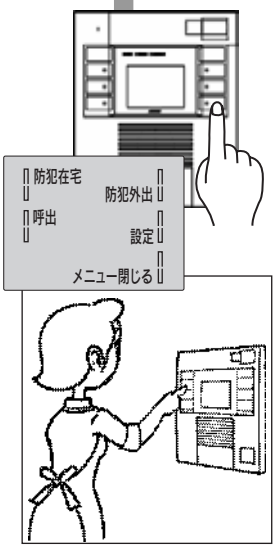
2 ◎「**通話**」ボタンを押して通話します。
●通話中は【**通話中**】の文字を表示します。

3 ◎通話が終わったら、再度「**通話**」ボタンを押します。
●通話が終了し、モニター表示が消えます。
※「**通話**」ボタンを押し忘れても約3分後、
自動的に終了します。



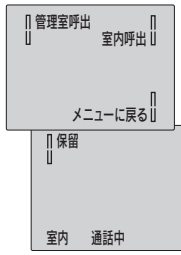
■カラーモニター付増設インターホンを呼出す時

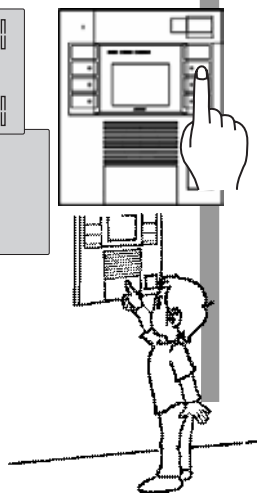
※カラーモニター付増設インターホンが設置されている時のみ動作します。



1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎メニュー画面より【**呼出**】のボタンを押します。
●呼出先の選択画面を表示します。
※「**通話**」ボタンを押して呼出先の選択画面を表示することもできます。

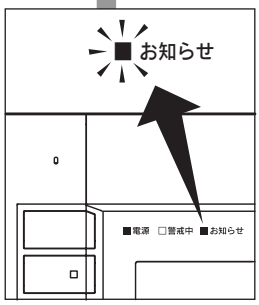




3 ◎【**室内呼出**】のボタンを押します。
●【**室内　呼出中**】の文字を表示して呼出します。
●呼出中は、呼出音〈**プー**〉が鳴ります。

4 ●カラーモニター付増設インターホンで【**通話**】ボタンを押すと【**通話中**】の文字を表示して通話することができます。
※カラーモニター付増設インターホンで「**通話**」ボタンを押さず約45秒経過すると呼出が終了します。

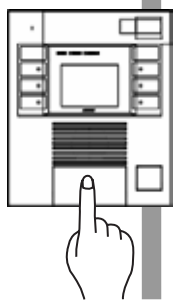
■通話中に他の場所から呼出された時



1 ●呼出音が1回鳴動し、『**お知らせ**』灯が点滅します。

2 ●通話を切り替える時は、「**通話**」ボタンを1回押して現在の通話を終了させます。
すると、他の場所からの呼出状態になりますのでもう1回「**通話**」ボタンを押して通話してください。

●通話を切り替えない時は、そのまま45秒経過すると『**お知らせ**』灯が消灯して呼出状態が終了します。



4-1 呼出しと通話方法

■情報を受信している時

●宅配ボックスに荷物が届いた時や留守中に管理室から
連絡があった時は、『**お知らせ**』灯が点滅します。

●情報の数により、『**お知らせ**』灯の点滅の仕方は変わります。

情報が1件　○―○―○―○―○―

情報が2件　○○―○○―○○―○○―○○―

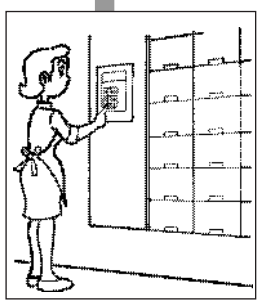
情報が3件　○○○―○○○―○○○―○○○―○○○―

情報が4件以上　点灯表示

※『**お知らせ**』灯は、P13［**ご使用方法（セキュリティー・生活情報）**］にある
警報表示を複数受信している場合でも点滅します。

■建物の宅配ボックスに荷物が着いた時

**※お住まいのマンションにより
動作しないことがあります。**

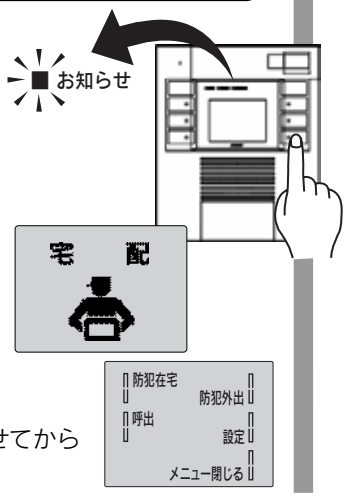


1 ●約3分間【**宅配**】表示をした後『**お知らせ**』灯が
点滅します。

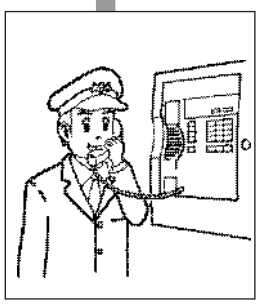
2 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●【**宅配**】表示をして『**お知らせ**』灯が消灯します。

3 ●約3分間経過すると【**宅配**】表示は自動的に消え、
『**お知らせ**』灯が再度点滅します。
※宅配ボックスから荷物を取り出すまで『**お知らせ**』
灯は消灯しません。

※3分を待たずに【**宅配**】表示を消したい場合は、
【**メニュー**】のボタンを押し、メニュー画面を表示させてから
【**メニュー閉じる**】のボタンを押してください。



■管理室からメッセージがある場合

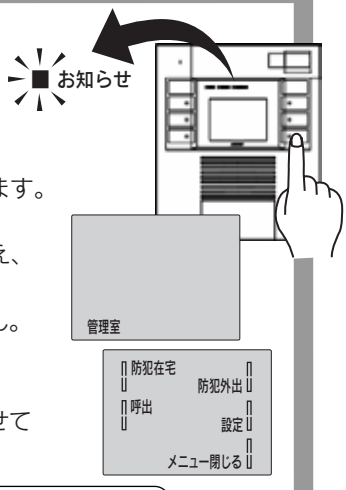


1 ●約3分間【**管理室**】の文字を表示した後、
『**お知らせ**』灯が点滅します。

2 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●【**管理室**】の文字を表示して『**お知らせ**』灯が消灯します。

3 ●約3分間経過すると【**管理室**】の表示は自動的に消え、
『**お知らせ**』灯が再度点滅します。
※管理室と通話するまで『**お知らせ**』灯は消灯しません。

※3分を待たずに【**管理室**】の表示を消したい場合は、
【**メニュー**】のボタンを押し、メニュー画面を表示させて
から【**メニュー閉じる**】のボタンを押してください。



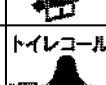
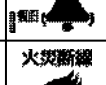
**※お住まいのマンションにより、管理室からメッセージがある場合のみ
管理室呼出機能が有効になる場合があります。**

5 ご使用方法（セキュリティー・生活情報）

カラーモニター付住宅情報盤には、火災、ガスもれ、防犯（戸締まり）の異常などを感知してお住まいの内外へ警報するセキュリティー機能、さらにトイレやバスでの生活上のトラブルを知らせる各種生活情報が備わっています。異常時はモニターに警報表示を出し、警報メッセージが鳴って知らせますので、落ち着いて行動し、適切な対応をしてください。

■警報時のカラーモニター付住宅情報盤とドアホンの動作

※お住まいのマンションの設備により、動作するものとしないものがあります。ご確認ください。

警報＼動作	カラーモニター付住宅情報盤			ドアホン	
	モニター表示	表示灯	警報メッセージ	警報メッセージ	警報灯
火災感知器の作動（HAPGJ303およびHAPGJ305のみ）		『火災』灯 赤（点滅）	ファンフォンファンフォンファンフォン 火災感知器が作動しました。 確認してください。		赤（点滅）
火災（火災確認ボタンを押した時）		『火災』灯 赤（点滅）	ファンフォンファンフォンファンフォン 火事です。火事です。火災が発生しました。 安全を確認のうえ、避難してください。 ビュービュービュー	ファンフォンファンフォンファンフォン 火事です。火事です。火災が発生しました。 安全を確認のうえ、避難してください。 ビュービュービュー	
直下階または同階からの出火（HAPGJ302では動作しません）		『火災』灯 赤（点滅）	ファンフォンファンフォンファンフォン 火事です火事です。○階/○階○○号室/ この近所で火災が発生しました。 安全を確認のうえ、避難してください。 ビュービュービュー 注1		
ガスもれ		『ガス』灯 黄（点滅）	ピッピッピッピッピッピッ ガスもれです。	ピッピッピッピッピッピッ ガスもれです。	赤（点滅）
非常通報			ピーポーピーポーピーポー 緊急事態発生。	ピーポーピーポーピーポー 緊急事態発生。	
防犯			ピーポーピーポーピーポー 防犯装置が作動しました。	ピーポーピーポーピーポー 防犯装置が作動しました。	赤（点滅） 注2
換気			ピーピーピー 換気してください。		
トイレコール			ポッポッポッ トイレに来てください。	ポッポッポッ トイレに来てください。 注2	
バスコール			ポーポーポー お風呂に来てください。	ポーポーポー お風呂に来てください。 注2	
コール			ポロポロポロ	ポロポロポロ 注2	
火災感知器線断線			ピー 配線を確認してください。		赤（点滅）
ガス漏れ検知器故障			ピー 配線を確認してください。		

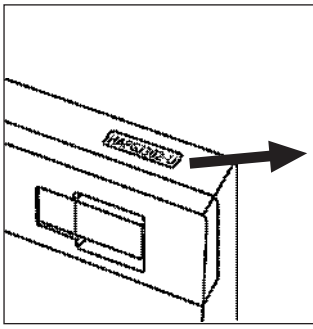
注1：設備の仕様により、警報メッセージが異なります。
注2：設備の仕様により、点滅または鳴動しないもの、遅延後に点滅または鳴動するものがありますのでご注意ください。

■複数の警報を受信している時

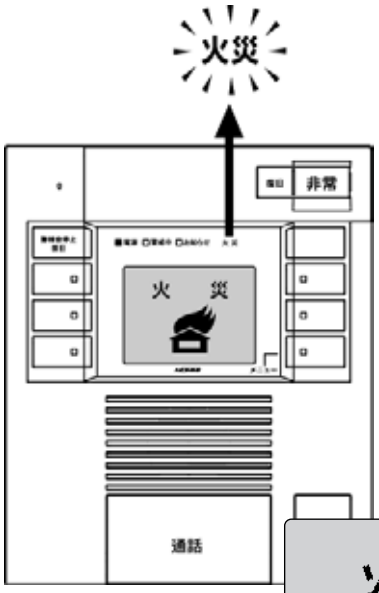
●複数の警報を受信している状態では『**お知らせ**』灯が点滅しています。
◎後続の警報を確認するには「**警報音停止／復旧**」ボタンを押して警報音を止めてから【**次へ**】のボタンを押します。
●後続の警報を表示します。

5-1-1 火災警報時の対応(HAPGJ302およびHAPGJ304の場合)

※ご使用のインターホンの型式につきましては、
インターホン上面のシールにてご確認ください。



HAPGJ302-U
HAPGJ302-U-V
または
HAPGJ304-U
HAPGJ304-U-V



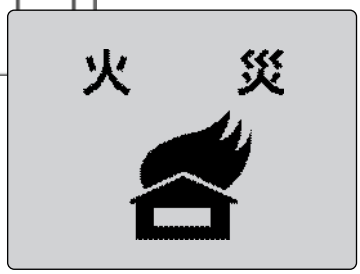
■火災発生時(火災警報)

●火災感知器が作動すると、『**火災**』灯が点滅し、モニターに【**火災**】表示をします。

●火災警報メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー**〉を繰り返します。

○ドアホンの『**警報表示**』灯が点滅します。火災警報メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー**〉を繰り返します。

○管理室では、警報とともに、お住まいの住戸番号が表示され、火災が発生したことが分かります。

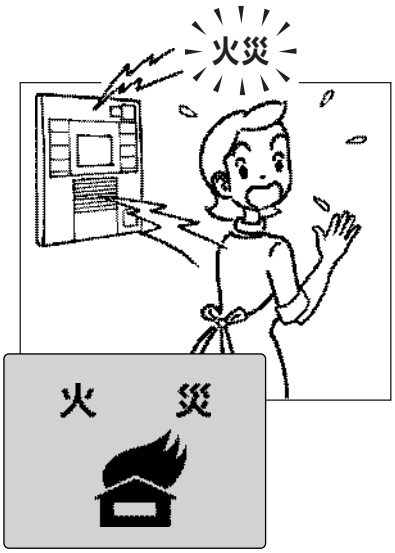


対応 火災の状況により、初期消火、通報、避難など適切な対応をしてください。

◎「**警報音停止／復旧**」ボタンを押すと、警報メッセージは止まります。

※火災感知器が作動状態であれば、『火災』灯およびモニターは表示し続けます。

5-1-1 火災警報時の対応(HAPGJ302およびHAPGJ304の場合)



■近隣から火災が発生した場合

※HAPGJ302では動作しません。

●お住まいと同じ階の住戸、または1つ下の階の住戸から火災が発生した場合は、『**火災**』灯が点滅し、モニターに【**火災**】表示をします。
※警報が鳴る場所は建物により変わる場合があります。

●近隣火災警報メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火事です。火事です。この近所で(注1)火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー**〉を繰り返します。
(注1)設備の仕様により出火場所をアナウンスします。(○階で/○階○○号室で/この近所で)

対応 安全を確認して避難してください。

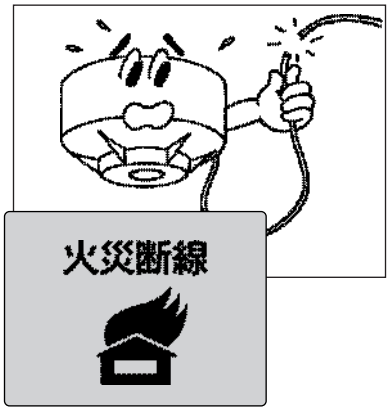
■非火災報の場合

火災ではなく、過度な煙や温度変化などにより火災感知器が作動した場合。

◎火災が発生していないことを確認し、「**警報音停止／復旧**」ボタンを押してください。
●警報メッセージが止まります。

◎非火災報の原因となった熱や煙を排除してください。
●『**火災**』灯とモニター表示が消えます。

※非火災報の原因を排除しても、『火災』灯およびモニター表示が消えない場合は、住戸内を確認し、管理室・管理会社などへ連絡して点検を依頼してください。



■火災感知器線が断線した場合

●火災感知器の配線が断線すると、モニターに【**火災断線**】表示をし、火災感知器断線警報メッセージ〈**ピー　配線を確認してください。**〉を繰り返します。
○ドアホンでは、『**警報表示**』灯が点滅します。(警報メッセージは鳴りません)
○管理室では、警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、障害が発生したことが分かります。

対応 警報メッセージを止めるには、「警報音停止／復旧」ボタンを押してください。管理室・管理会社などへ連絡して点検を依頼してください。

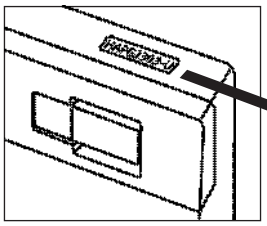
※警報中は、インターホンが使えません。

カラーモニター付住宅情報盤から警報メッセージが鳴っている時は、インターホンで通話はできません。

対応 通報、確認などで管理室を呼び出すには、「警報音停止／復旧」ボタンを押して、警報メッセージを止めてから行ってください。

注意 ⚠ 火災を確認する前に、「警報音停止／復旧」ボタンを押さないでください。外部へ通報されないことがあります。

5-1-2 火災警報時の対応(HAPGJ303およびHAPGJ305の場合)



※ご使用のインターホンの型式につきましては、
インターホン上面のシールにてご確認ください。

HAPGJ303-U　HAPGJ303-U-V
または
HAPGJ305-U　HAPGJ305-U-V

■火災発生時(火災警報)

●火災感知器が作動すると、『**火災**』灯が点滅し、モニターに【**感知器　作動**】表示をします。

●火災感知器作動メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火災感知器が作動しました。確認してください。**〉を繰り返します。

○ドアホンの『**警報表示**』灯が点滅します。

●火災感知器作動状態が2分間以上継続するか「**火災確認**」ボタンを押すと、モニターが【**火災**】表示に切り替わります。

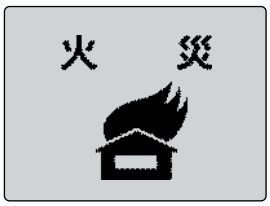
○火災警報メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー**〉を繰り返します。

○ドアホンでも同様に火災警報メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー**〉を繰り返します。

○管理室、お住まいの階の住戸および1つ上の階の住戸で警報が鳴ります。

※警報が鳴る場所は建物により変わる場合があります。

※お住まいの住戸に火災感知器ではなくスプリンクラーが設置されている場合は【**感知器　作動**】表示をせずに【**火災**】表示をし、火災警報メッセージを繰返します。



対応1　火災の発生を確認した時は、2分の経過を待たずに「火災確認」ボタンを押してください。管理室、お住まいの階の住戸および1つ上の階の住戸で警報が鳴ります。
※警報が鳴る場所は建物により変わる場合があります。

対応2　火災の状況により、初期消火、通報、避難など適切な対応を行ってください。

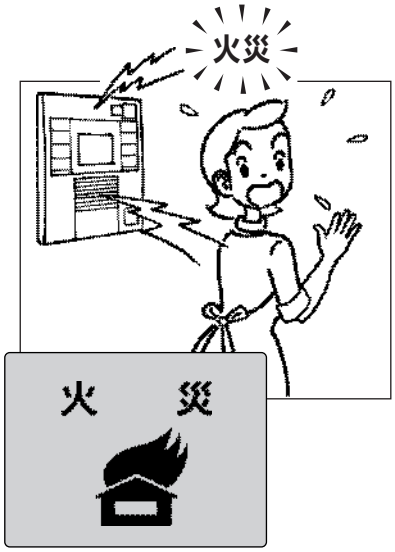
●火災感知器が復旧し、管理室に設置されている住棟受信機で復旧作業をするとカラーモニター付住宅情報盤は、自動的に復旧します。

※管理室に住棟受信機が設置されていない場合は、火災感知器が復旧している状態で「**警報音停止／復旧**」ボタンを押すと、カラーモニター付住宅情報盤は復旧します。

◎「**警報音停止／復旧**」ボタンを押すと、警報メッセージは止まります。

※火災感知器が作動状態であれば、『火災』灯およびモニターは表示し続けます。

5-1-2 火災警報時の対応(HAPGJ303およびHAPGJ305の場合)



■近隣から火災が発生した場合

●お住まいと同じ階の住戸、または1つ下の階の住戸から火災が発生した場合は、『**火災**』灯が点滅し、モニターに【**火災**】表示をします。
※警報が鳴る場所は建物により変わる場合があります。

●近隣火災警報メッセージ〈**ファンフォンファンフォンファンフォン火事です。火事です。この近所で**(注1)**火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー**〉を繰り返します。
(注1)設備の仕様により出火場所をアナウンスします。(○階で/○階○○号室で/この近所で)

対応 安全を確認して避難してください。

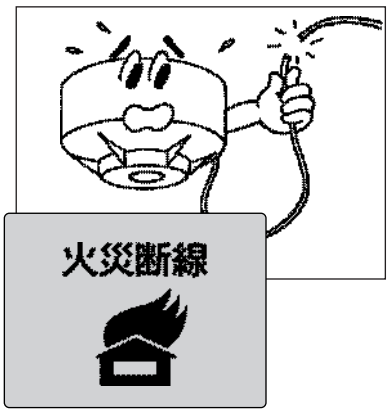
■非火災報の場合

火災ではなく、過度な煙や温度変化などにより火災感知器が作動した場合。

◎火災が発生していないことを確認し、「**警報音停止／復旧**」ボタンを押してください。
●警報メッセージが止まります。

◎非火災報の原因となった熱や煙を排除してください。
●『**火災**』灯とモニター表示が消えます。

※非火災報の原因を排除しても、『火災』灯およびモニター表示が消えない場合は、住戸内を確認し、管理室・管理会社などへ連絡して点検を依頼してください。



■火災感知器線が断線した場合

●火災感知器の配線が断線すると、モニターに【**火災断線**】表示をし、火災感知器断線警報メッセージ〈**ピー　配線を確認してください。**〉を繰り返します。
○ドアホンでは、『**警報表示**』灯が点滅します。(警報メッセージは鳴りません)
○管理室では、警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、障害が発生したことが分かります。

対応 警報メッセージを止めるには、「警報音停止／復旧」ボタンを押してください。管理室・管理会社などへ連絡して点検を依頼してください。

※警報中は、インターホンが使えません。

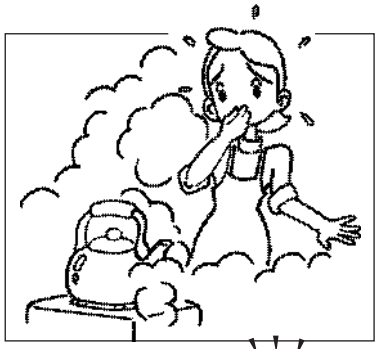
カラーモニター付住宅情報盤から警報メッセージが鳴っている時は、インターホンで通話はできません。

対応 通報、確認などで管理室を呼び出すには、「警報音停止／復旧」ボタンを押して、警報メッセージを止めてから行ってください。

注意 ⚠ 火災を確認する前に、「警報音停止／復旧」ボタンを押さないでください。外部へ通報されないことがあります。

5-2 ガスもれ警報時の対応

※ガス漏れ検知器が設置されていなければ動作しません。



■ガスもれ発生時

●ガス漏れ検知器が作動してから約40秒間経過すると、『**ガス**』灯が点滅し、モニターに【**ガスもれ**】表示をします。

●ガスもれ警報メッセージ〈**ピッピッピッピッピッガスもれです**〉を繰り返します。

○ドアホンの『**警報表示**』灯が点滅し、ガスもれ警報メッセージ〈**ピッピッピッピッピッガスもれです**〉を繰り返します。

○管理室では、警報とともに、お住まいの住戸番号が表示され、ガスもれが発生したことが分かります。

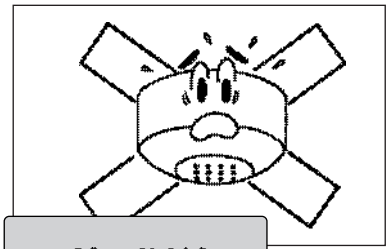
ガス

対応 ガスもれ場所を確認し、ガスの元栓を閉め、ドアや窓を開けて換気してください。

（換気されて、もれたガスがなくなると『**ガス**』灯およびモニター表示は消灯し、警報メッセージも止まります。）

◎警報メッセージを止めるには『**警報音停止／復旧**』ボタンを押してください。

危険 **ガスが充満している状態では、危険ですから照明や換気扇など、電気のスイッチは使わないでください。ガスに引火して爆発する危険があります。**



■ガス漏れ検知器が故障した場合

●ガス漏れ検知器が故障したり、配線が断線すると、モニターに【**ガス断線**】表示をし、ガスもれ検知器故障メッセージ〈**ピー 配線を確認してください。**〉を繰り返します。

○ドアホンでは、『**警報表示**』灯が点滅します。（警報メッセージは鳴りません）

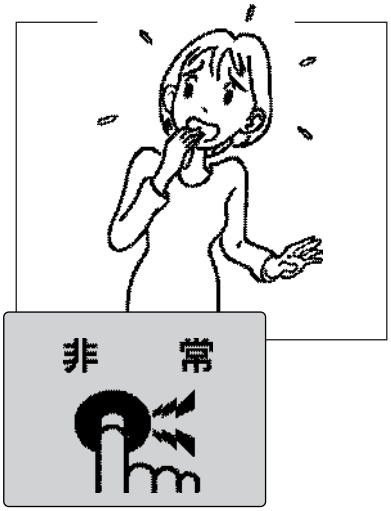
○管理室では、警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、障害が発生したことが分かります。

対応 ガス漏れ検知器がはずれていないか、電源プラグが抜けていないかを調べてください。

（原因が分からない時は、管理室・管理会社などへ連絡して、点検を依頼してください。）

◎警報メッセージを止めるには『**警報音停止／復旧**』ボタンを押してください。

5-3 非常時の対応



■緊急事態を外部に知らせる時（非常通報）

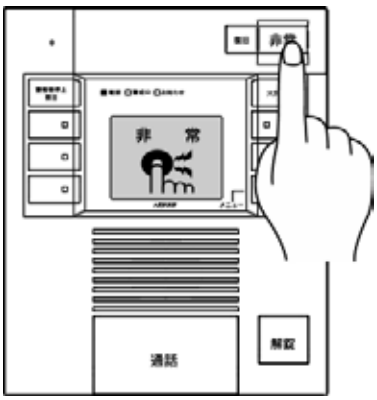
●緊急事態を外部に通報する時は、「**非常**」ボタンを押してください。
モニターに【**非常**】表示をします。

●非常警報メッセージ〈**ピーポーピーポーピーポー緊急事態発生**〉を繰り返します。
○ドアホンの『**警報表示**』灯が点滅し、非常警報メッセージ〈**ピーポーピーポーピーポー緊急事態発生**〉を繰り返します。
○管理室では、警報とともに、お住まいの住戸番号が表示され、緊急事態が発生したことがわかります。

◎警報メッセージを止めるには、「**警報音停止／復旧**」ボタンを押してください。

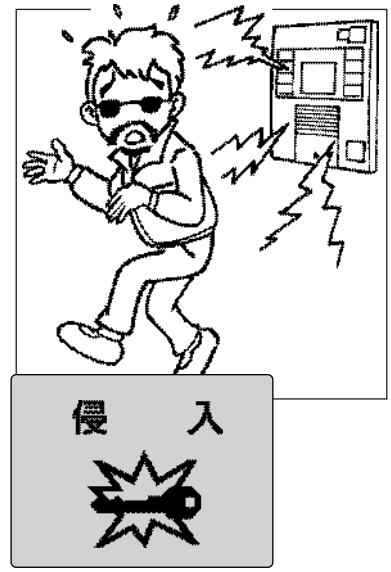
◎警報を戻す（復旧する）には、「**非常**」ボタンの復旧側を押してください。

※増設の「非常」ボタンを押した場合、その押しボタンを元に戻し、モニターの【非常】表示が消えることを確認してください。



5-4 防犯警報時の対応

※玄関、窓などに防犯センサーが設置されていなければ、使用できません。



■防犯警報の暗証番号登録について

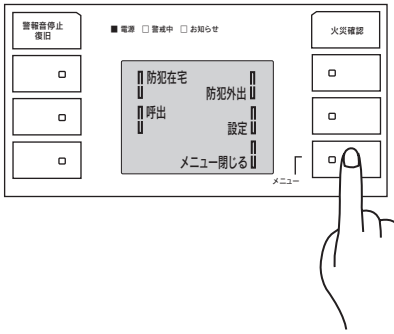
防犯警戒を解除するには、暗証操作が必要です。
暗証番号の登録方法については、P26［暗証番号の登録］をお読みください。

※侵入者が容易に防犯警戒を解除できないように暗証番号を登録しておくことをお勧めします。

※出荷時は暗証番号が登録されていません。
暗証番号を登録していない状態で防犯警戒を解除するためには、【メニュー】のボタンを押した後、【防犯解除】のボタンを押します。

5-4 防犯警報時の対応

※玄関、窓などに防犯センサーが設置されていなければ、使用できません。



■防犯のセット

1 ◎防犯センサーが設置されている玄関、窓などが閉まっていることを確認します。

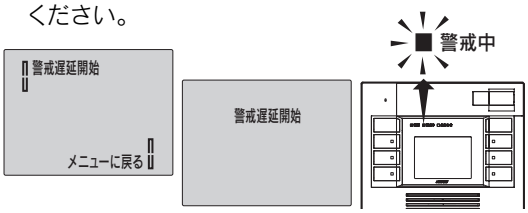
※閉まっていない状態では、セット操作時に〈**戸締まりを確認してください。**〉とメッセージが流れます。モニターに**【戸締まりを確認ください】**の文字を約5秒間表示して、警戒を開始できません。

2 ◎**【メニュー】**のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

(A)外出時に防犯セットする場合

3 ◎**【防犯外出】**のボタンを押します。
●**【警戒遅延開始】**を表示します。

4 ◎**【警戒遅延開始】**のボタンを押します。
●**『警戒中』**灯が点滅し、モニターに**【警戒遅延開始】**の文字を表示します。
●警戒遅延中音〈**ピーピーピー**〉が約60秒間(**注1**)鳴りますので、この間に戸締まりをして外出してください。

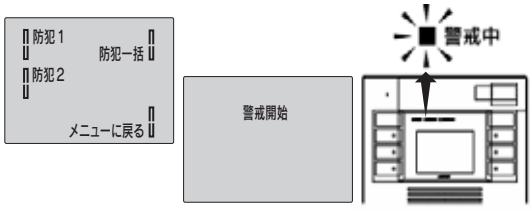


5 ●**『警戒中』**灯が点灯に変わります。
●モニター表示が消え、電子音〈**ピン**〉(**注2**)が鳴り、警戒を開始します。

(B)就寝など在宅時に防犯セットする場合

3 ◎**【防犯在宅】**のボタンを押します。
●**【防犯1】【防犯2】【防犯一括】**を表示します。

4 ◎警戒する場所を選び、ボタンを押します。
※**【防犯1】**は、玄関の警戒をする時に選択します。
【防犯2】は、窓などの警戒をする時に選択します。
【防犯一括】は、玄関、窓などの警戒をする時に選択します。

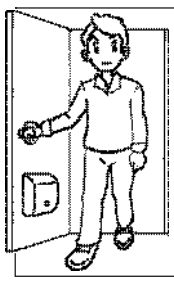


5 ●**『警戒中』**灯が点灯し、モニターに**【警戒開始】**の文字を約3秒間表示します。
●電子音〈**ピン**〉(**注2**)が鳴り、警戒を開始します。

(**注1**)お住まいのマンションによっては、警戒遅延開始後、玄関ドアを1回開け閉めすれば警戒を開始する場合や、警戒遅延時間が30秒、120秒、180秒のいずれかに設定されている場合があります。施工店にご確認ください。

注意 **玄関ドアの1回開け閉めで警戒を開始する場合は、玄関ドアを閉めた時点でドアホンから電子音〈ピン〉(注2)が鳴り、警戒を開始します。玄関ドアが閉まっていない場合は警戒を開始しません。注意してください。**

(**注2**) 電子音〈**ピン**〉ではなく〈**警戒を開始します**〉や無音に設定することもできます。
P36[**防犯警戒メッセージの設定**]をお読みください。



外出時
遅延時間内にドアを閉めて外出します。

※防犯在宅と防犯外出の違いについて

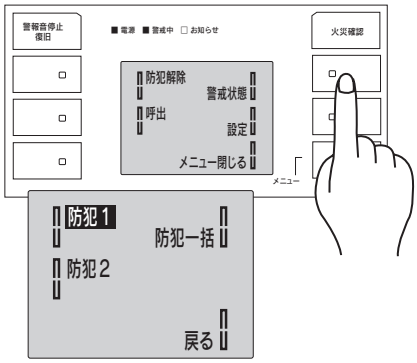
防犯在宅は即時に警戒を開始しますが、防犯外出は外出する時と入室する時に玄関ドアを開けるので、それぞれ遅延時間を設けています。
(警戒中、窓などが開けられた場合は入室遅延せず即時に警報を発します。)

入室時

遅延時間内に防犯警報を解除します。

5-4 防犯警報時の対応

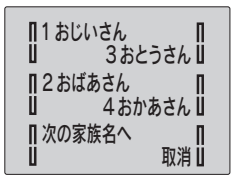
※玄関、窓などに防犯センサーが設置されていなければ、使用できません。

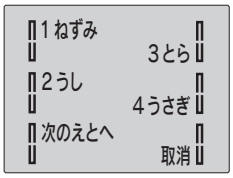


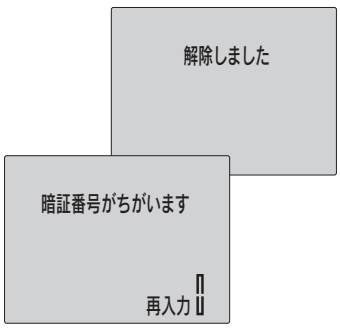
■警戒状態の確認

1 ◎「**メニュー**」のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎**【警戒状態】**のボタンを押します。
●警戒箇所を反転表示して警戒状態を表示します。
警戒箇所を追加したい場合は追加したい箇所のボタンを押してください。







■防犯警戒の解除のしかた

1 ◎「**メニュー**」のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

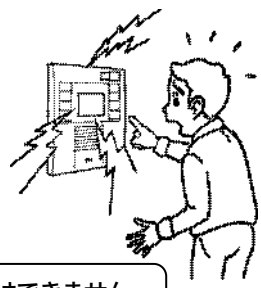
2 ◎**【防犯解除】**のボタンを押します。
●家族名を表示します。

3 ◎暗証登録した家族名のボタンを押します。
※該当するボタンがなければ、**【次の家族名へ】**のボタンを押してください。

4 ◎暗証登録した干支のボタンを押します。
※該当するボタンがなければ、**【次のえとへ】**のボタンを押してください。

5 ●登録内容と一致していれば『**警戒中**』灯が消灯し、モニターに**【解除しました】**の文字を約2秒間表示します。
●電子音〈**ピン**〉(**注1**)が鳴ります。
※登録内容と一致していなければ、モニターに**【暗証番号がちがいます】**の文字を約5秒間表示します。
【再入力】のボタンを押して、もう一度家族名から選択してください。

※暗証番号を登録していない場合は、【メニュー】のボタンを押した後、【防犯解除】のボタンを押せば解除されます。



※防犯外出の警戒中に帰宅すると、約60秒間(**注2**)の警戒遅延状態となり、電子音〈**ピーピー**〉が鳴っています。この間に警戒を解除してください。
(約60秒(**注2**)を過ぎると、防犯警報が出ますので注意してください。)

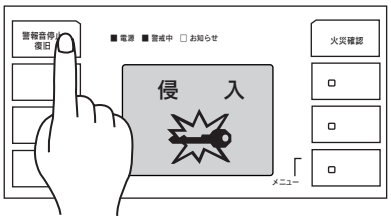
注意 ⚠ **防犯警戒をセットすると、正しい暗証番号を入力するまで防犯警戒を解除することはできません。暗証番号を忘れないようにしてください。**

(**注1**) 電子音〈**ピン**〉ではなく〈**解除しました**〉や無音に設定することもできます。P36[**防犯警戒メッセージの設定**]をお読みください。

(**注2**) 30秒、120秒、180秒のいずれかに設定されている場合があります。施工店にご確認ください。

5-4 防犯警報時の対応

※玄関、窓などに防犯センサーが設置されていなければ、使用できません。



■防犯警報時

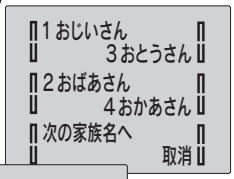
●防犯センサーが作動すると、モニターに**【侵入】**表示をします。
●防犯警報メッセージ〈**ピーポーピーポーピーポー防犯装置が作動しました。**〉を繰り返します。
○ドアホンの『**警報表示**』灯が点滅し、防犯警報メッセージ〈**ピーポーピーポーピーポー防犯装置が作動しました。**〉を繰り返します。
○管理室では、警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、防犯装置が作動したことが分かります。

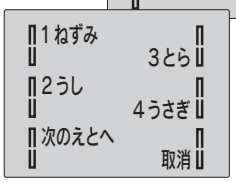
※防犯外出警戒時は、遅延時間を設けてあるため、玄関の防犯センサーが作動すると〈ピーピーピー〉の入室遅延中音と『警戒中』灯の点滅が約60秒続いた後、防犯警報になります。
（お住まいのマンションによっては、30秒、120秒、180秒のいずれかに設定されている場合があります。施工店にご確認ください。）

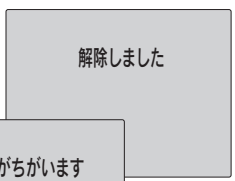
対応 防犯センサーが作動した原因を確認し、適切な処置をしてください。

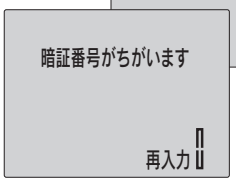
対応 防犯警報メッセージを止めるには、「警報音停止／復旧」ボタンを押してください。

■防犯警報の復旧方法









1 ◎「**警報音停止／復旧**」ボタンを押します。
●防犯警戒メッセージがとまります。

2 ◎**【メニュー】**のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

3 ◎**【防犯復旧】**のボタンを押します。
●家族名を表示します。

防犯警報の復旧方法は、P21［防犯警戒の解除のしかた］と同じですが、【防犯解除】のボタンが【防犯復旧】になります。

4 ◎暗証登録した家族名のボタンを押します。
※該当するボタンがなければ、**【次の家族名へ】**のボタンを押してください。

5 ◎暗証登録したえとのボタンを押します。
※該当するボタンがなければ、**【次のえとへ】**のボタンを押してください。

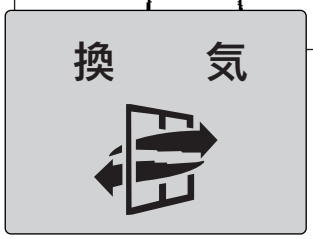
6 ●登録内容と一致していれば、モニターに**【解除しました】**の文字を約2秒間表示します。
●電子音〈**ピン**〉（**注1**）が鳴ります。
※登録内容と一致していなければ、モニターに**【暗証番号がちがいます】**の文字を約5秒間表示します。
【再入力】のボタンを押して、もう一度家族名から選択してください。

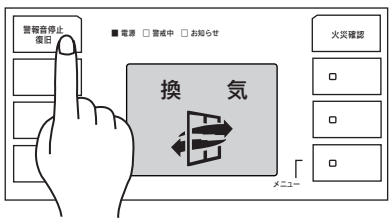
※暗証番号を登録していない場合は、【メニュー】のボタンを押した後、【防犯復旧】のボタンを押せば解除されます。

（**注1**）電子音〈**ピン**〉ではなく〈**解除しました。**〉や無音に設定することもできます。
P36［**防犯警戒メッセージの設定**］をお読みください。

5-5 換気警報時の対応

※不完全燃焼警報機能付ガス漏れ検知器が設置されていなければ、動作しません。





■室内の換気をうながす換気警報

●不完全燃焼などで室内のCO（一酸化炭素）濃度が高くなり、検知器が作動すると、モニターに**【換気】**表示をします。
●換気警報メッセージ〈**ピーピーピー換気してください。**〉を繰り返します。

○ドアホンでは、約5分後に『**警報表示**』灯が点滅します。（警報メッセージは鳴りません）
○管理室では、約5分後に警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、換気警報が作動したことが分かります。

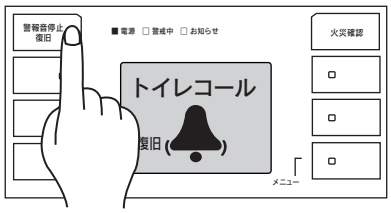
※設備の仕様により、ドアホンで『**警報表示**』灯が点滅せず、管理室で警報しない場合があります。

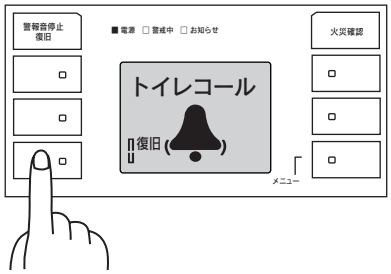
対応 **窓を開けるなどして、新鮮な空気と入れ替えてください。**
（換気されてCOがなくなるとモニター表示は消灯し、換気警報メッセージも止まります。）

◎換気警報メッセージを止めるには、「警報音停止／復旧」ボタンを押してください。

5-6 コール警報（呼出し）時の対応

※コールボタンが設置されていなければ、動作しません。





■トイレコール（トイレからの呼出し）

●トイレで異常事態が発生した時など、トイレコールボタンが押されると、モニターに**【トイレコール】**表示をします。
●トイレコール警報メッセージ〈**ポッポッポットイレに来てください。**〉を繰り返します。

○ドアホンでは、約60秒後に『**警報表示**』灯が点滅し、トイレコール警報メッセージ〈**ポッポッポットイレに来てください。**〉を繰り返します。
○管理室では、約60秒後に警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、トイレコール警報が作動したことが分かります。

※設備の仕様によりドアホンおよび管理室で即時警報する場合や、警報しない場合があります。

対応 **トイレへ急行し、適切な処置をしてください。**

◎トイレコール警報メッセージを止めるには、「警報音停止／ 復旧」ボタンを押してください。

対応 **対応が済み、トイレコールを元に戻すには、【復旧】のボタンを押してください。**
※モニターに【復旧】のボタンを表示しない場合は、トイレコールボタンを復旧してください。

5-6 コール警報(呼出し)時の対応

※コールボタンが設置されていなければ、動作しません。

■バスコール(お風呂からの呼出し)

●お風呂で異常事態が発生した時など、バスコールボタンが押されると、モニターに【**バス コール**】表示をします。
●バスコール警報メッセージ〈**ポーポーポーお風呂に来てください。**〉を繰り返します。

○ドアホンでは、約60秒後に『**警報表示**』灯が点滅し、バスコール警報メッセージ〈**ポーポーポーお風呂に来てください。**〉を繰り返します。
○管理室では、約60秒後に警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、バスコール警報が作動したことが分かります。

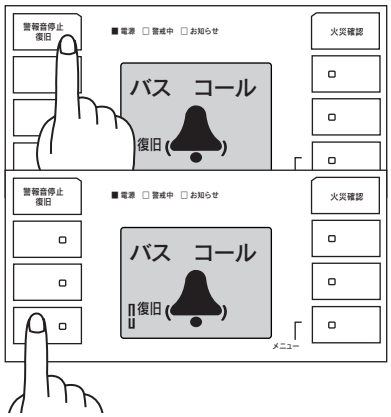
※設備の仕様によりドアホンおよび管理室で即時警報する場合や、警報しない場合があります。

対応 お風呂へ急行し、適切な処置をしてください。

◎バスコール警報メッセージを止めるには、「警報音停止／ 復旧」ボタンを押してください。

対応 対応が済み、バスコールを元に戻すには、【復旧】のボタンを押してください。

※モニターに【復旧】のボタンを表示しない場合は、バスコールボタンを復旧してください。



■コールボタンを設置した場所からの呼出し

●コールボタンが押されると、モニターに【**コール**】表示をします。
●コール警報〈**ポロポロポロ**〉を繰り返します。

○ドアホンでは、約60秒後に『**警報表示**』灯が点滅し、コール警報〈**ポロポロポロ**〉を繰り返します。
○管理室では、約60秒後に警報とともにお住まいの住戸番号が表示され、コール警報が作動したことが分かります。

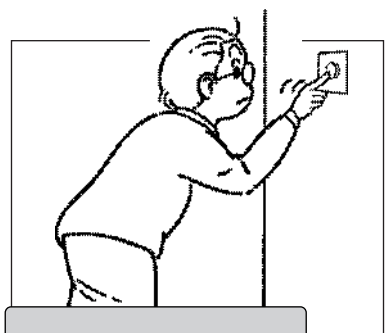
※設備の仕様によりドアホンおよび管理室で即時警報する場合や、警報しない場合があります。

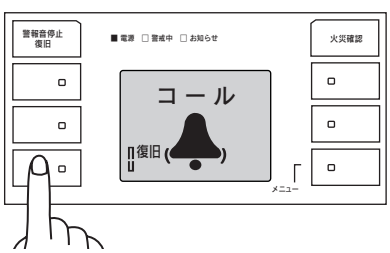
対応 呼び出されたところへ急行し、適切な処置をしてください。

◎コール警報を止めるには、「警報音停止／復旧」ボタンを押してください。

対応 対応が済み、コールを元に戻すには、【復旧】のボタンを押してください。

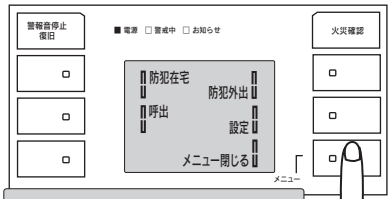
※モニターに【復旧】のボタンを表示しない場合は、コールボタンを復旧してください。





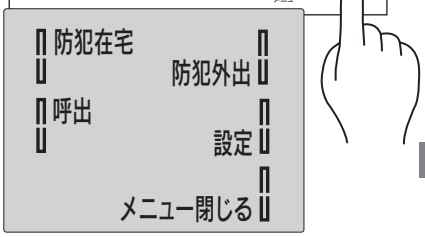
6 シミュレーション機能

カラーモニター付住宅情報盤は模擬的に火災、ガスもれ、非常時の警報を確認することができる機能を備えています。
警報時の動作を確認し、緊急時の対応を確認してください。

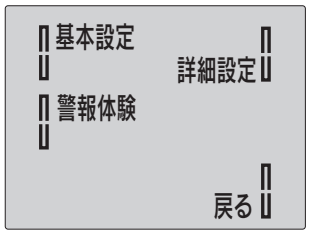


■シミュレーション（警報の体験・試聴）

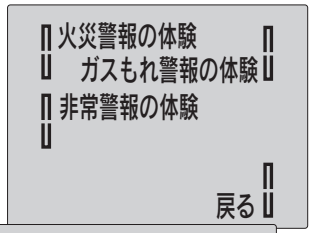
1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



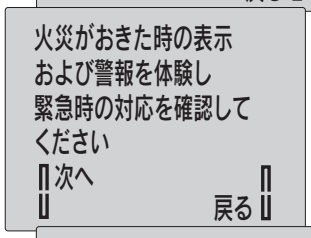
2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



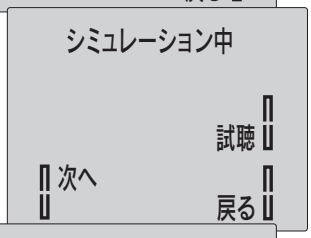
3 ◎【**警報体験**】のボタンを押します。
●警報体験の選択画面を表示します。



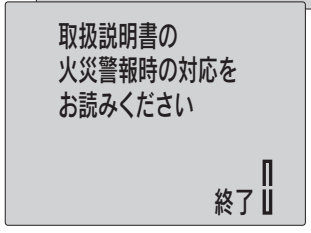
4 ◎火災、ガスもれ、非常いずれかの警報体験のボタンを押してください。
●警報体験についての説明画面を表示します。
※図は火災の例
※ガスもれ警報の体験は、ガス漏れ検知器が設置されていなければ動作しません。



5 ◎【**次へ**】のボタンを押します。
●【**シミュレーション中**】と実際の警報画面を交互に表示します。
●火災の場合は火災灯、ガスもれの場合はガス灯が点滅します。



6 ◎【**試聴**】のボタンを押すと実際の警報メッセージを確認することができます。
●【**次へ**】のボタンを押すと、取扱説明書による対応の確認をうながします。



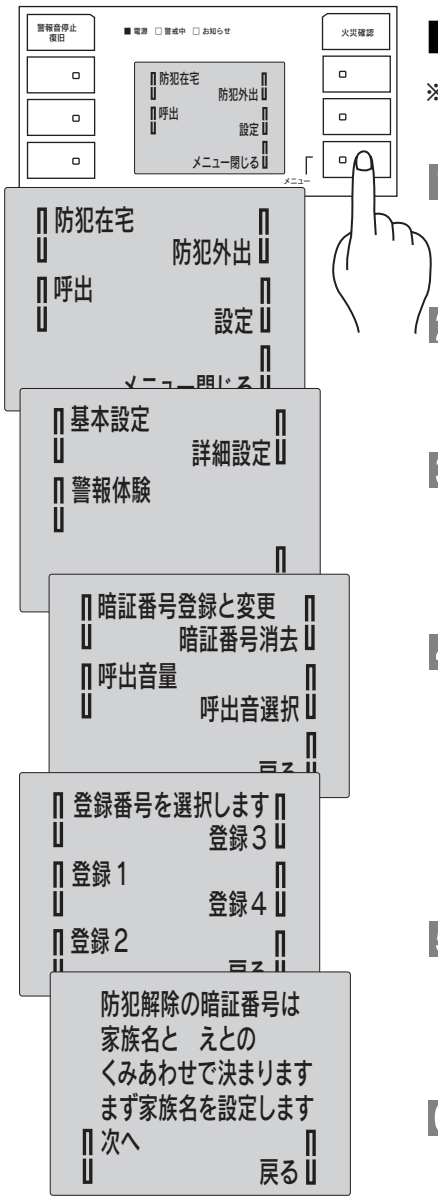
7 ◎【**終了**】のボタンを押すと終了します。

7 設定

カラーモニター付住宅情報盤の暗証番号の登録、呼出音、呼出音鳴動回数、画面調整などをお客様のお好みにより設定できます。設定方法には【基本設定】と【詳細設定】があり、設定できる項目が異なります。

設定方法

基本設定	暗証番号登録と変更	防犯警戒解除の暗証番号を登録、変更します。	P.26～29
	暗証番号消去	登録した暗証番号を消去します。	P.30～31
	呼出音量	呼出音の音量を設定します。	P.32
	呼出音選択	呼出音の種類を選択します。	P.33
詳細設定	呼出鳴動回数	呼出音が鳴る回数を設定します。	P.34
	メニュー画面調整	メニュー画面の画質を調整します。	P.35
	警戒メッセージ	防犯警戒時のメッセージを設定します。	P.36
	初期設定	初期設定に戻します。	P.37



■暗証番号の登録

※防犯警戒中および防犯警報中は、暗証番号登録はできません。

1 ◎【メニュー】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎メニュー画面より【設定】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。

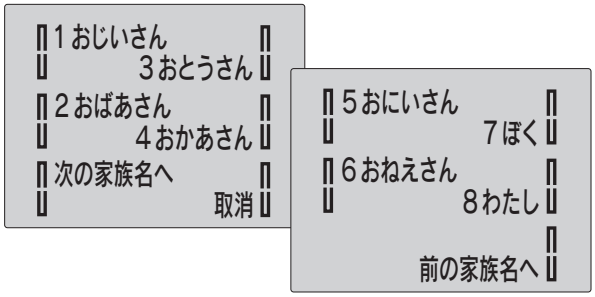
3 ◎【基本設定】のボタンを押します。
●基本設定の選択画面を表示します。

4 ◎【暗証番号登録と変更】のボタンを押します。
●登録番号選択画面を表示します。
※家族名と干支の組み合わせで4パターン登録することができます。
例）　登録1：おとうさんーさる
登録2：おかあさんーうま
登録3：おにいさんーひつじ
登録4：おねえさんーいぬ

5 ◎【登録1】～【登録4】いずれかの登録番号のボタンを押します。
●【防犯解除の暗証番号は家族名と　えとのくみあわせで決まります　まず家族名を設定します】の表示が出ます。

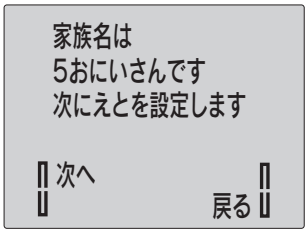
6 ◎【次へ】のボタンを押します。
●家族名の選択画面を表示します。

7 設定

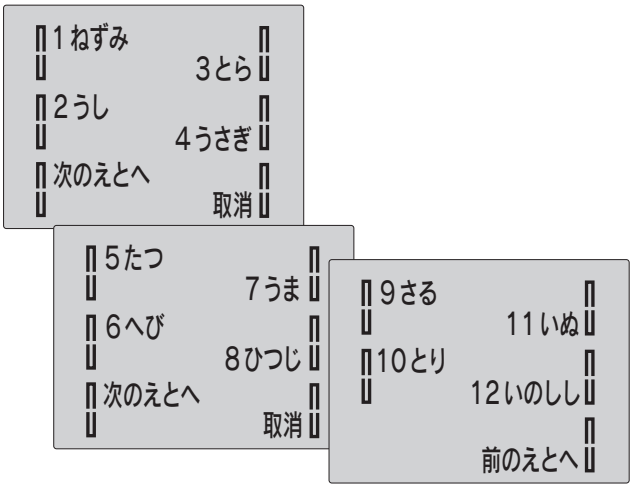


7 ◎該当する家族名のボタンを押します。
●設定確認の画面を表示します。

選択できる家族名は下記の表により確認してください。				
最初の画面	：	【1おじいさん】	【2おばあさん】	【3おとうさん】 【4おかあさん】
【次の家族名へ】を押すと	：	【5おにいさん】	【6おねえさん】	【7ぼく】 【8わたし】

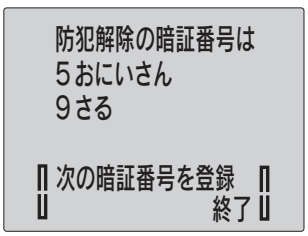


8 ◎【次へ】のボタンを押します。
●干支の選択画面を表示します。



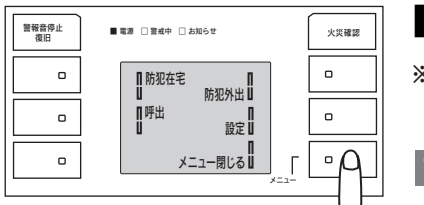
9 ◎該当する干支のボタンを押します。
●設定確認の画面を表示します。
※設定した暗証番号を確認してください。

選択できる干支(えと)は下記の表により確認してください。					
最初の画面	：	【1ねずみ】	【2うし】	【3とら】	【4うさぎ】
【次のえとへ】を押すと	：	【5たつ】	【6へび】	【7うま】	【8ひつじ】
さらに【次のえとへ】を押すと	：	【9さる】	【10とり】	【11いぬ】	【12いのしし】



10 ◎さらに暗証番号の登録を行う場合は、**【次の暗証番号の登録】**のボタンを押してください。
これで終了する場合は、**【終了】**のボタンを押してください。

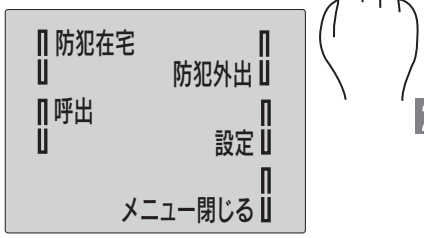
7 設定



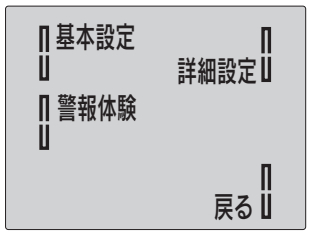
■暗証番号の変更

※防犯警戒中および防犯警報中は、暗証番号の変更はできません。

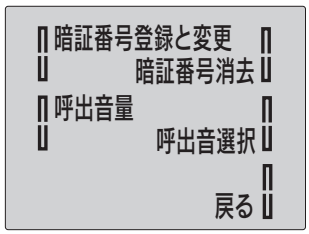
1 ◎**【メニュー】**のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



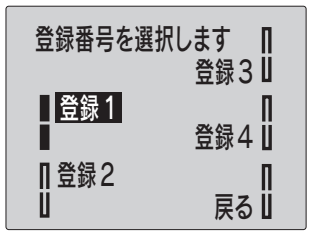
2 ◎メニュー画面より**【設定】**のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



3 ◎**【基本設定】**のボタンを押します。
●基本設定の選択画面を表示します。



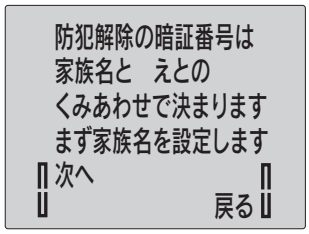
4 ◎**【暗証番号登録と変更】**のボタンを押します。
●登録番号選択画面を表示します。
※現在登録されている登録番号が反転表示されています。



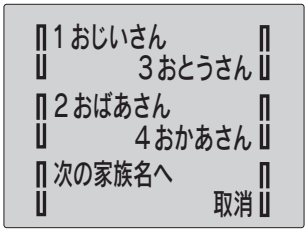
5 ◎登録済みの登録番号のボタンを押します。
●**【暗証番号を変更します】**の表示が出ます。

6 ◎**【次へ】**のボタンを押します。
●**【防犯解除の暗証番号は家族名と　えとのくみあわせで決まります
まず家族名を設定します】**の表示が出ます。

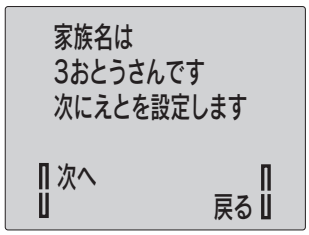
7 設定



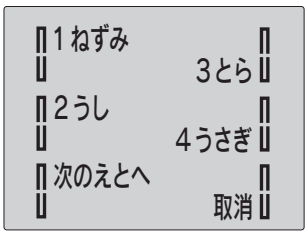
7 ◎【**次へ**】のボタンを押します。
●家族名の選択画面を表示します。



8 ◎該当する家族名のボタンを押します。
●設定確認の画面を表示します。

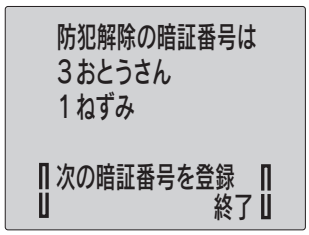


9 ◎【**次へ**】のボタンを押します。
●干支の選択画面を表示します。

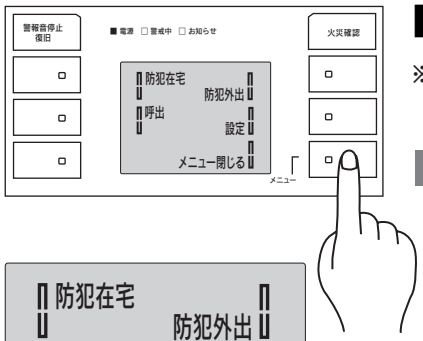


10 ◎該当する干支のボタンを押します。
●設定確認の画面を表示します。
※設定した暗証番号を確認してください。

※これで終了する場合は、【**終了**】のボタンを押してください。



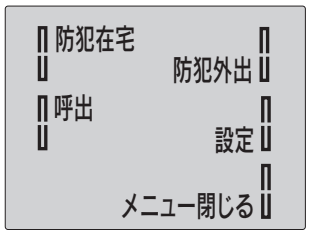
7 設定



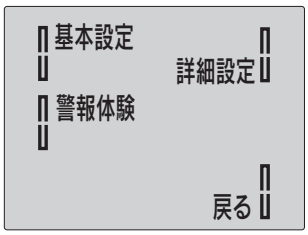
■暗証番号の消去

※防犯警戒中および防犯警報中は、暗証番号の消去はできません。

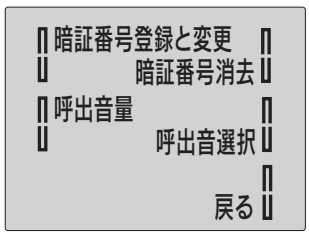
1 ◎**【メニュー】**のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



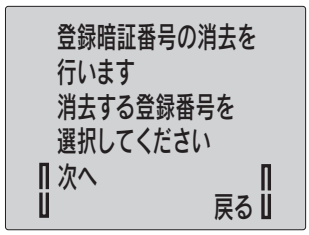
2 ◎メニュー画面より**【設定】**のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



3 ◎**【基本設定】**のボタンを押します。
●基本設定の選択画面を表示します。

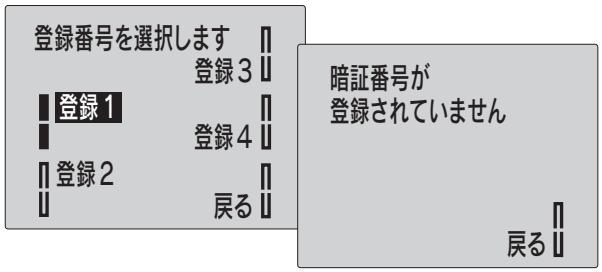


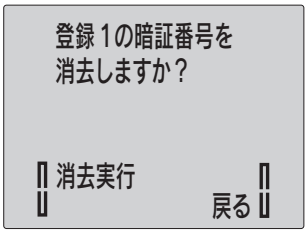
4 ◎**【暗証番号消去】**のボタンを押します。
●**【登録暗証番号の消去を行います　消去する登録番号を選択してください】**の表示が出ます。



5 ◎**【次へ】**のボタンを押します。
●登録番号の選択画面を表示します。
※現在登録されている登録番号が反転表示されています。

7 設定

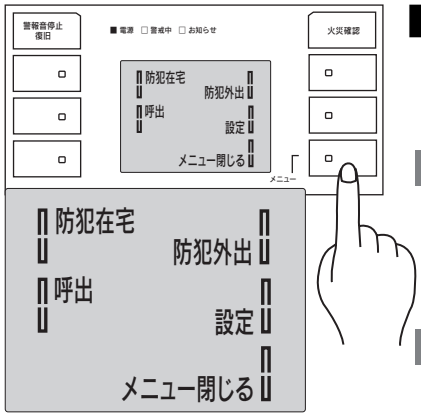




6 ◎消去する登録番号のボタンを押します。
※登録されていない登録番号のボタンを押すと、**【暗証番号が登録されていません】**を表示します。
登録番号選択画面に戻り、再度入力してください。
●該当する登録番号を表示し、消去の確認をうながします。

7 ◎**【消去実行】**のボタンを押します。
●**【登録（　）の暗証番号を消去しました】**の文字を約5秒間表示します。

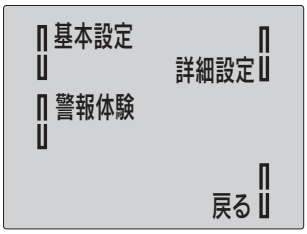
7 設定



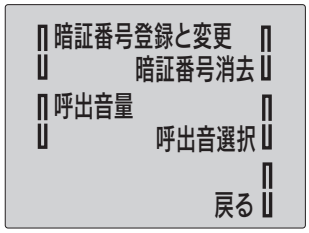
■呼出音量の設定 （初期設定：中）

1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

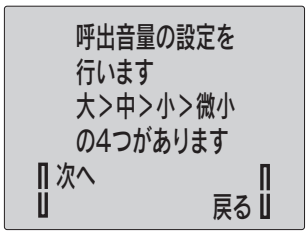
2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



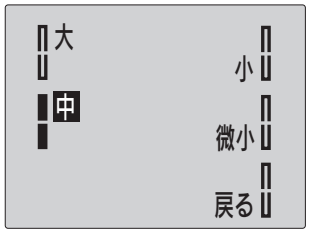
3 ◎【**基本設定**】のボタンを押します。
●基本設定の選択画面を表示します。



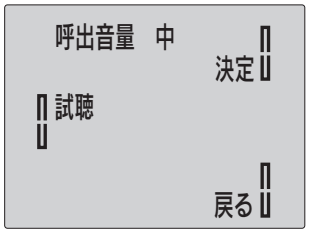
4 ◎【**呼出音量**】のボタンを押します。
●【**呼出音量の設定を行います 大＞中＞小＞微小の4つがあります**】の表示が出ます。



5 ◎【**次へ**】のボタンを押します。
●呼出音量選択画面を表示します。
※現在設定されている音量が反転表示されています。



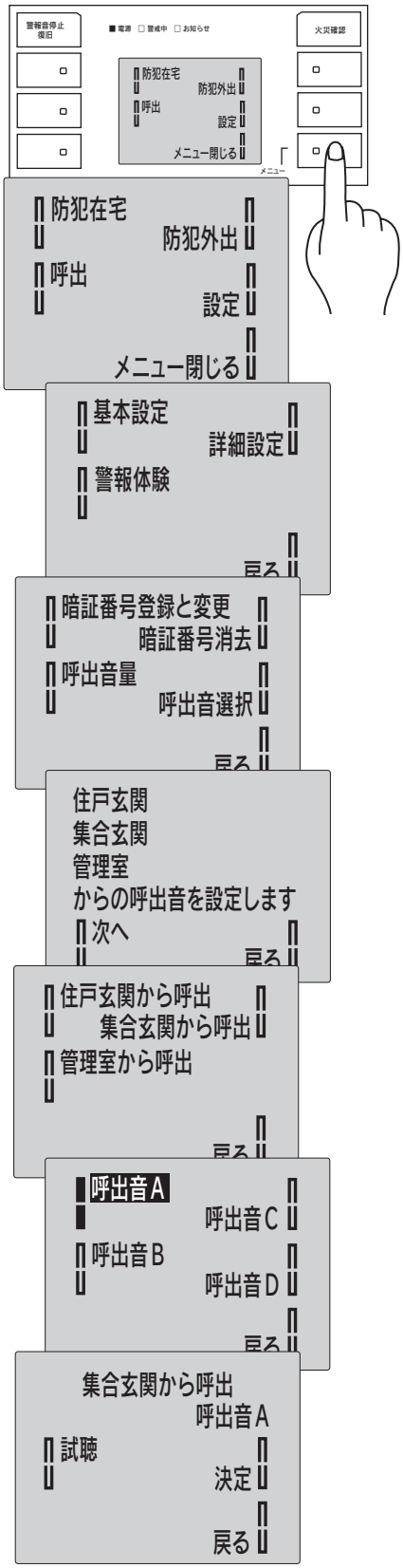
6 ◎設定する音量のボタンを押します。
●設定確認の画面を表示します。



7 ◎【**試聴**】のボタンを押せば、音量の確認を行うことができます。
設定を確認したら【**決定**】のボタンを押してください。

※呼出元にかかわらず、音量は一律に設定されます。

7 設定



■呼出音の設定 （初期設定:呼出音A）

1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。

3 ◎【**基本設定**】のボタンを押します。
●基本設定の選択画面を表示します。

4 ◎【**呼出音選択**】のボタンを押します。
●【**住戸玄関　集合玄関　管理室からの呼出音を設定します**】の表示が出ます。

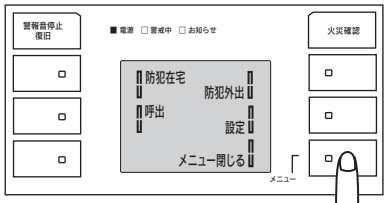
5 ◎【**次へ**】のボタンを押します。
●呼出場所の選択画面を表示します。

6 ◎呼出音を設定したい場所のボタンを押します。
●呼出音選択画面を表示します。
※現在設定されている呼出音が反転表示されています。

7 ◎設定する呼出音のボタンを押します。
●設定確認の画面を表示します。

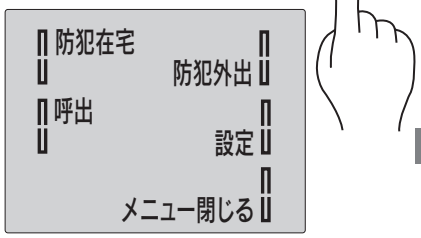
8 ◎【**試聴**】のボタンを押せば、呼出音の確認を行うことができます。
設定を確認したら【**決定**】のボタンを押してください。

7 設定

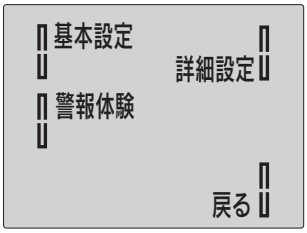


■呼出鳴動回数の設定 （初期設定：2回）

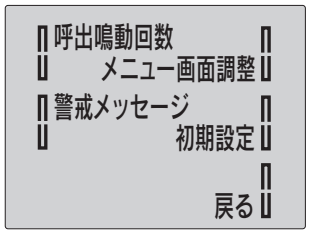
1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



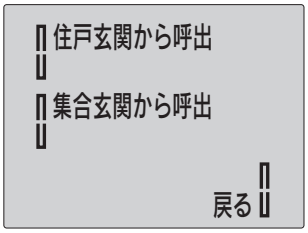
2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



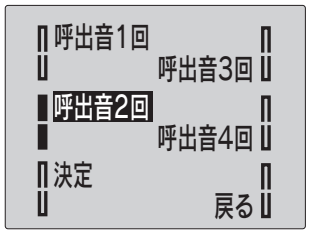
3 ◎【**詳細設定**】のボタンを押します。
●詳細設定の選択画面を表示します。



4 ◎【**呼出鳴動回数**】のボタンを押します。
●呼出元の選択画面を表示します。

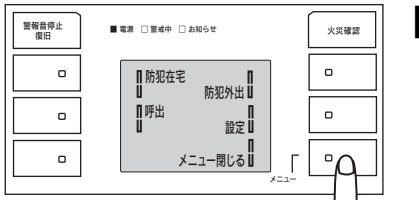


5 ◎呼出鳴動回数を設定したい場所のボタンを押します。
●呼出鳴動回数の選択画面を表示します。
※現在設定されている呼出音が反転表示されています。



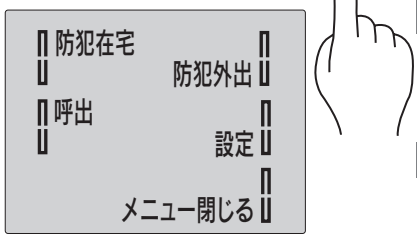
6 ◎設定する呼出鳴動回数のボタンを押します。
◎【**決定**】のボタンを押すと設定されます。

7 設定



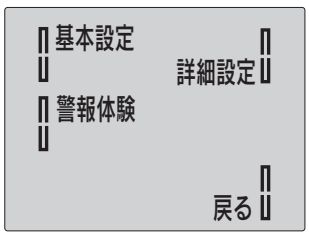
■メニュー画面の調整 （初期設定：輝度5、カラー5）

※ここで調整できるのは、メニュー画面の画質調整です。
来訪者映像の画質調整方法は、P38［通話中の画面調整］を参照してください。

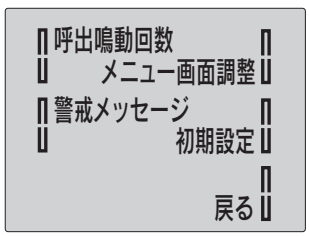


1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

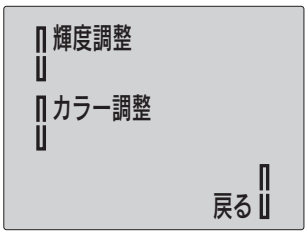
2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



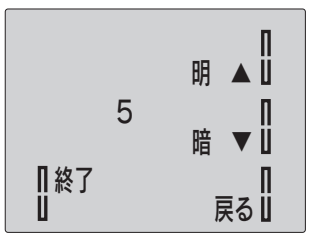
3 ◎【**詳細設定**】のボタンを押します。
●詳細設定の選択画面を表示します。



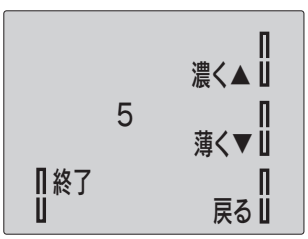
4 ◎【**メニュー画面調整**】のボタンを押します。
●調整項目の選択画面を表示します。



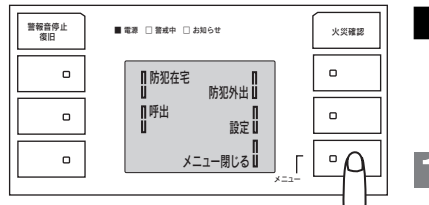
5-1 ◎輝度を調整する場合は、【**輝度調整**】のボタンを押します。
●輝度調整画面を表示します。
◎【**明 ▲**】【**暗 ▼**】のボタンを押して、明るさを10段階で調整してください。
調整終了後は、【**終了**】のボタンを押してください。



5-2 ◎カラーを調整する場合は、【**カラー調整**】のボタンを押します。
●カラー調整画面を表示します。
◎【**濃く▲**】【**薄く▼**】のボタンを押して、カラーを10段階で調整してください。
調整終了後は、【**終了**】のボタンを押してください。

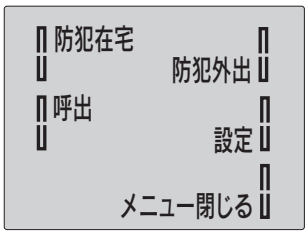


7 設定

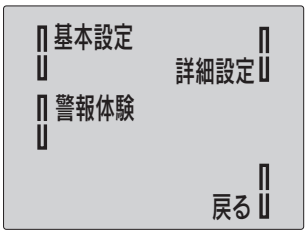


■警戒メッセージの設定 （初期設定:電子音）

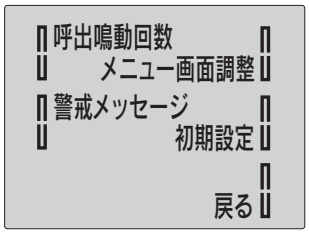
1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



3 ◎【**詳細設定**】のボタンを押します。
●詳細設定の選択画面を表示します。



4 ◎【**警戒メッセージ**】のボタンを押します。
●警戒メッセージの選択画面を表示します。
※現在設定されている警戒メッセージが反転表示されています。

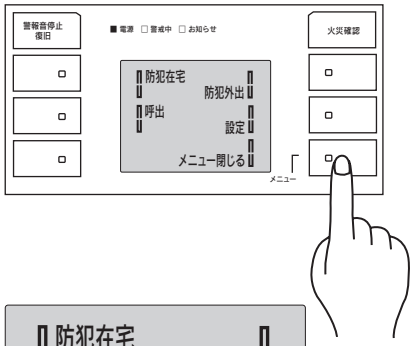
5 ◎設定する警戒メッセージのボタンを押します。
◎【**決定**】のボタンを押すと設定されます。

7 設定

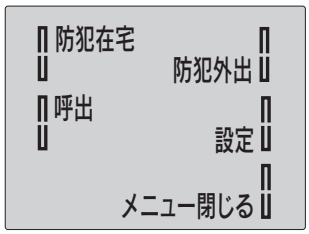
■初期化実行

初期化実行を行えば、設定を出荷時と同じ設定にすることができます。
初期化される設定は下表のとおりです。

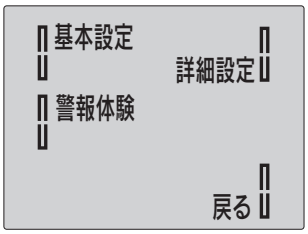
基本設定	呼出音量	中
	呼出音選択	すべて呼出音 A
詳細設定	呼出鳴動回数	すべて2回
	メニュー画面調整	輝度5　カラー5
	警戒メッセージ	電子音



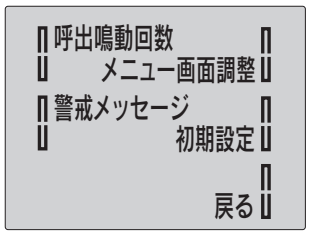
1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



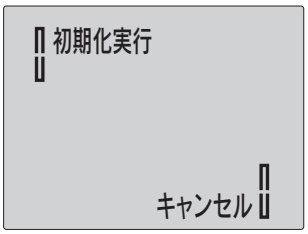
2 ◎メニュー画面より【**設定**】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。



3 ◎【**詳細設定**】のボタンを押します。
●詳細設定の選択画面を表示します。



4 ◎【**初期設定**】のボタンを押します。
●初期化実行の選択画面を表示します。

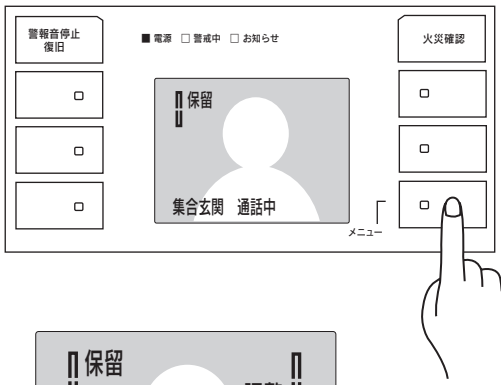


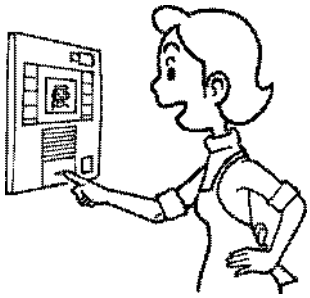
5 ◎【**初期化実行**】のボタンを押します。
●【**初期化中**】の文字を約2秒間表示して、設定が初期化されます。

7 設定

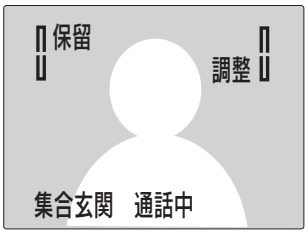
■通話中の画面調整 （初期設定:輝度5、カラー5）

集合玄関と通話中、映像を見ながら画面の調整をすることができます。





1 ◎集合玄関との通話中に【**メニュー**】のボタンを押します。
●通話中の画面に【**調整**】の文字を表示します。



2 ◎【**調整**】のボタンを押します。
●【**輝度調整**】【**カラー調整**】【**調整終了**】の文字を表示します。

3-1 ◎輝度を調整する場合は、【**輝度調整**】のボタンを押します。
●輝度調整画面を表示します。
◎【**明 ▲**】【**暗 ▼**】のボタンを押して、明るさを調整してください。
調整終了後は、【**調整終了**】のボタンを押してください。

3-2 ◎カラーを調整する場合は、【**カラー調整**】のボタンを押します。
●カラー調整画面を表示します。
◎【**濃く ▲**】【**薄く ▼**】のボタンを押して、カラーを調整してください。
調整終了後は、【**調整終了**】のボタンを押してください。

※住戸玄関にカメラ付ドアホンが設置されている場合は、住戸玄関との通話中でも画質を調整することができます。

7 設定

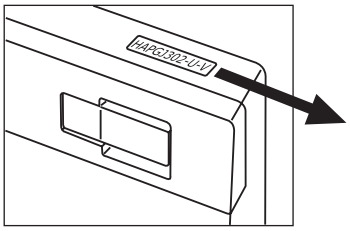
■設定書き込みシート

お客様で設定した設定内容を書き込んでおいてください。
（※暗証番号については、書き込まずに記憶しておくことをお勧めします。）

暗証番号	登録 1	家族名:	干支:	
	登録 2	家族名:	干支:	
	登録 3	家族名:	干支:	
	登録 4	家族名:	干支:	
呼出音量	住戸玄関	呼出音量:	呼出音:	鳴動回数:
	集合玄関		呼出音:	鳴動回数:
	管理室		呼出音:	鳴動回数:
画質調整	メニュー	輝度:	カラー:	
	集合玄関	輝度:	カラー:	
	住戸玄関(カメラ付の場合)	輝度:	カラー:	
警戒メッセージ	電子音	音声小	無音	

8 録画機能

カラーモニター付住宅情報盤の録画機能付モデルは、自動録画・録音機能を備えています。
※お住まいのマンションの設備により、動作するものとしないものがあります。ご確認ください。

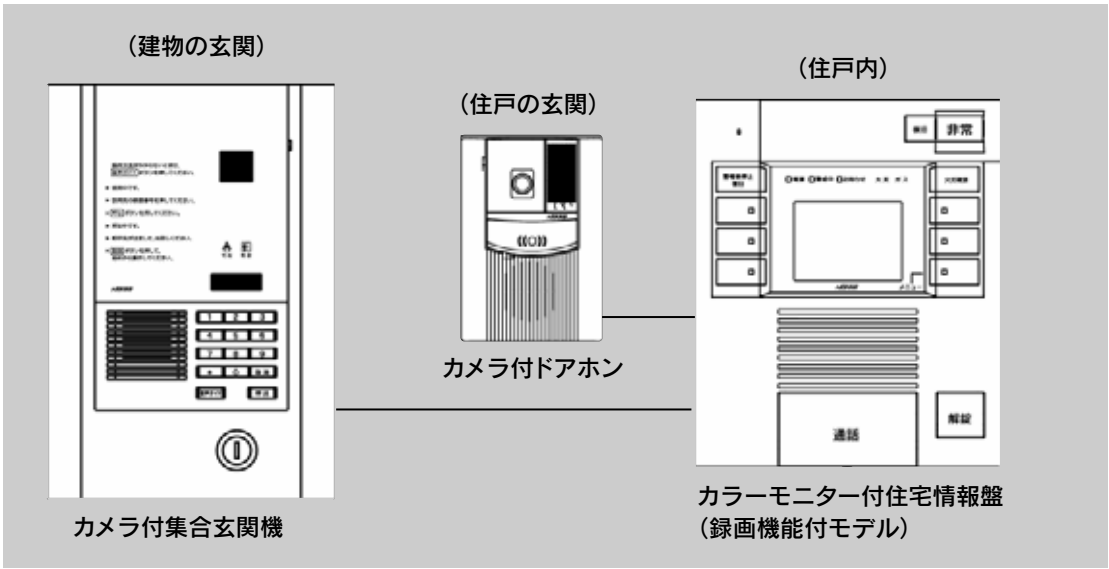


※ご使用のインターホンの型式につきましては、インターホン上面のシールにてご確認ください。以下のモデルが録画機能付です。

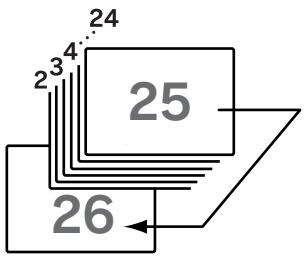
HAPGJ302-U-V
HAPGJ303-U-V
または
HAPGJ304-U-V
HAPGJ305-U-V

8-1 録画・録音

建物に設置されている集合玄関機またはドアホンがカメラ付きでない場合、およびカメラ付きであっても、来訪者が呼出し操作をしない場合、録画・録音されません。



カメラ付集合玄関機
カメラ付ドアホン
カラーモニター付住宅情報盤
(録画機能付モデル)



録画および録音は最大25件の記録が可能です。

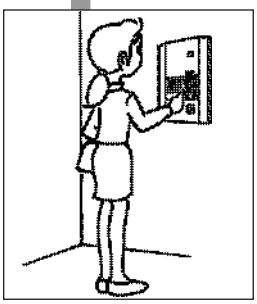
※録画件数が25件を超えた場合、最も古い画面を自動的に消去し、新しい画面を録画します。(未再生画面も消去されます。)

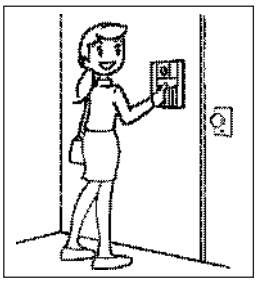
※残しておきたい画面は「保存」設定し、消去禁止にすることができます。

※本機に組み込まれている自動録画・録音機能を解除することはできません。

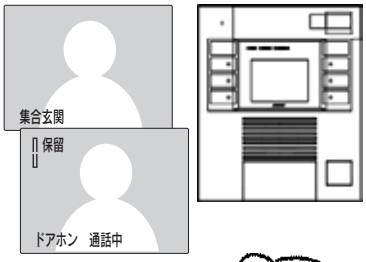
8-1 録画・録音

■カメラ付集合玄関機またはカメラ付ドアホンから呼出しを受けた時

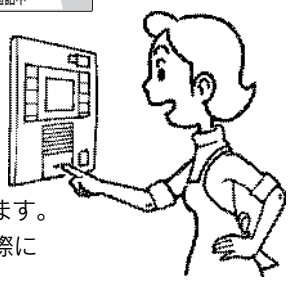




1
- ●呼出音が鳴ります。
- ●来訪者映像がモニターに映り、**【集合玄関】**または**【ドアホン】**の文字を表示します。
- ●録画・録音を自動的に開始します。
  1件あたり、録画は約1秒間隔で8画面、録音は約10秒間を記録します。



2
- ◎「**通話**」ボタンを押して通話します。
- ●通話中は**【通話中】**の文字を表示します。



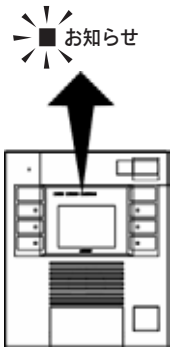
3
- ◎通話が終わったら、再度「**通話**」ボタンを押します。
- ●通話が終了し、モニター表示が消えます。

※「**通話**」ボタンを押し忘れても約3分後、自動的に終了します。
※呼出しから通話終了までの時間が10秒以内の場合、実際にかかった時間を録画・録音します。

※通話したくない時など「通話」ボタンを押さないと、不在時の録音・録画と同じ表示を行います。

1
- ●呼出音が鳴り、来訪者映像がモニターに映り、**【集合玄関】**または**【ドアホン】**の文字を表示します。（「**通話**」ボタンは押しません。）

2
- ●録画・録音を自動的に開始し、約45秒経過すると呼出状態が終了し、モニター表示が**【不在録画あり】**に変わります。
  ※この時、録画・録音された映像には**【不在】**が表示されます。

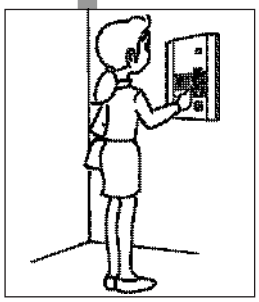


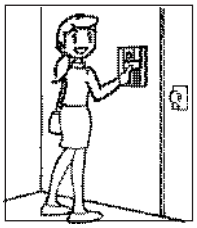
3
- ●約3分間**【不在録画あり】**の文字を表示した後『**お知らせ**』灯が点滅します。

※3分を待たずに**【不在録画あり】**表示を消したい場合は、**【メニュー】**のボタンを押し、メニュー画面を表示させてから**【メニュー閉じる】**のボタンを押してください。

8-1 録画・録音

■不在時にカメラ付集合玄関機またはカメラ付ドアホンから呼出しを受けた時の動作

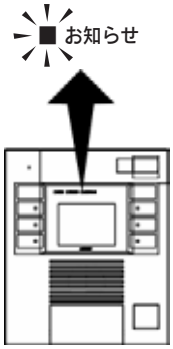




1 ●呼出音が鳴ります。
●来訪者映像がモニターに映り、**【集合玄関】**または**【ドアホン】**の文字を表示します。
●録画・録音を自動的に開始します。
1件あたり、録画は約1秒間隔で8画面、録音は約10秒間を記録します。

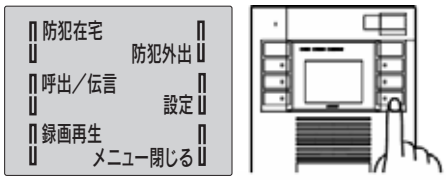
2 ●約45秒経過すると呼出状態が終了し、モニター表示が**【不在録画あり】**に変わります。
※この時、録画・録音された映像には**【不在】**が表示されます。

3 ●約3分間**【不在録画あり】**の文字を表示した後『**お知らせ**』灯が点滅した状態になります。

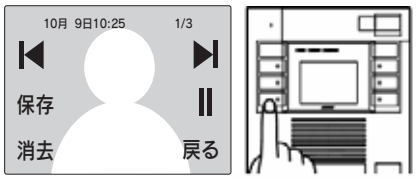


■録画・録音の再生

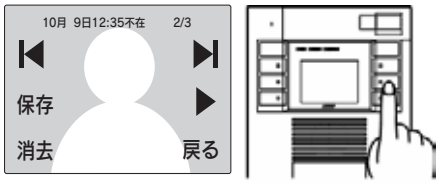
1 ◎**【メニュー】**のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。



2 ◎メニュー画面より**【録画再生】**のボタンを押します。
●最新の録画・録音された1件を再生します。
約1秒間隔で8画面を連続再生し、
音声も同時に再生します。

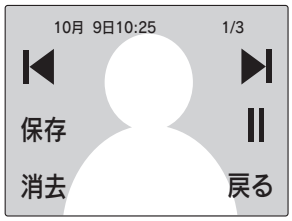


3 ●再生が終わると**【⏸】**のボタンが**【▶】**のボタンに変わります。
◎**【▶】**のボタンを押すと、もう一度再生します。
1つ前に録画された画面を再生するには、**【⏭】**のボタンを押します。



8-1 録画・録音

■再生画面(各ボタンの機能と動作)



《次ボタン》
ボタンを押すごとに1つ前に録画された画面を再生します。
最も古い録画画面を表示中に押された場合、最も新しい1件を再生します。

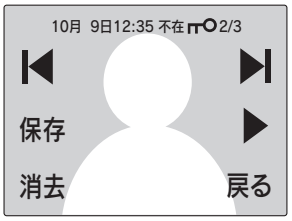
《前ボタン》
ボタンを押すと、1件ごとの逆送りとなります。
最も新しい録画画面を表示中に押された場合、最も古い1件を再生します。

《一時停止ボタン》
再生中にボタンを押すと、画面と音声が一時停止します。
一時停止中は【▶】ボタンを表示します。

《再生ボタン》
ボタンを押すと再生します。

保存 **《保存ボタン》**
ボタンを押すと、再生中の画面の保存を行い、【⊓O】を表示します。
10件分の保存が可能です。
【⊓O】のある保存画面で再度ボタンを押すと、保存が解除されます。
※11件目以降の保存を行うと**【保存できません】**を約2秒間表示します。
※保存した件数は25件に含まれます。

消去 **《消去ボタン》**
ボタンを2秒以上押すと、再生中の画面を消去します。
消去後は1つ前に録画された画面を再生します。
録画画面がない場合はメニュー画面を表示します。
※保存されている画面で消去を行うと**【消去できません】**を約2秒間表示します。



⊓O
保存した画面に表示します。

10月 9日12:35　2/3
録画された時刻と件数を表示します。
例:10月9日12時35分　全3件中の最新の2件目を表示

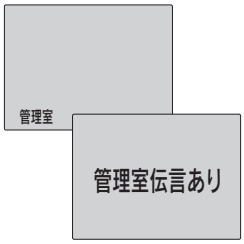
消去 + **《全録画消去》**
2つのボタンを2秒以上押すと、保存画面を除くすべての録画画面を消去します。
※すべての録画画面が保存されている場合、全録画消去を行うと**【消去できません】**を約2秒間表示します。

8-2 管理室伝言

カラーモニター付住宅情報盤の録画機能付モデルは、管理室からのメッセージを5件まで録音できます。
※管理室と通話を行った場合は録音されません。
※管理室伝言機能を解除することはできません。
※伝言件数が5件を超えた場合、最も古い伝言を自動的に消去し、新しい伝言を録音します。

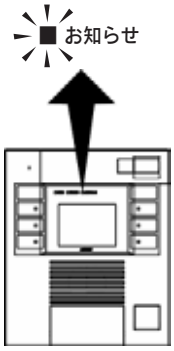
■管理室より呼出しまたは放送を受けた時の自動録音

1 ●呼出音〈**ピンポンパン**〉が鳴ります。
●【**管理室**】の文字を表示します。



2 ●呼出状態が約10秒間続くと自動的に録音を開始します。
1件あたり最大約30秒間録音します。
※放送の時は〈**ポーン**〉が鳴ったあと、自動的に録音を開始します。

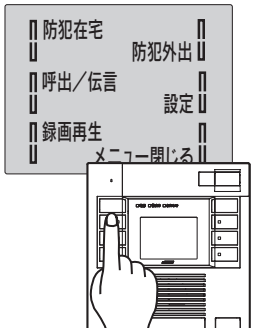
3 ●約45秒経過すると呼出状態が終了し、モニター表示が【**管理室伝言あり**】に変わります。

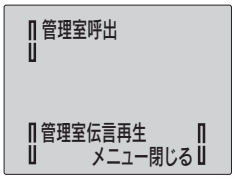


4 ●約3分間【**管理室伝言あり**】の文字を表示した後『**お知らせ**』灯が点滅します。

※3分を待たずに【**管理室伝言あり**】表示を消したい場合は、【**メニュー**】のボタンを押し、メニュー画面を表示させてから【**メニュー閉じる**】のボタンを押してください。

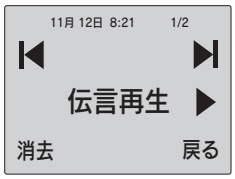
■管理室からの伝言再生





1 ◎【**メニュー**】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎メニュー画面より【**呼出／伝言**】のボタンを押します。
●各種呼出および伝言再生の選択画面を表示します。

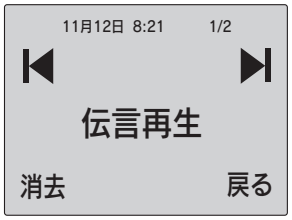


3 ◎【**管理室伝言再生**】のボタンを押します。
●最新の録音された伝言を再生します。
●画面に【**伝言再生**】の文字を表示します。

4 ●再生が終わると【▶】のボタンが表示されます。
◎【▶】のボタンを押すと、もう一度再生します。
1つ前に録音された伝言を再生するには、【▶|】のボタンを押します。

8-2 管理室伝言

■伝言再生画面(各ボタンの機能と動作)



《次ボタン》
ボタンを押すごとに1つ前に録音された伝言を再生します。
最も古い録音再生時に押された場合、最も新しい1件を再生します。

《前ボタン》
ボタンを押すと1件ごとの逆送りとなります。
最も新しい録音再生時に押された場合、最も古い1件を再生します。

《再生ボタン》
ボタンを押すと再生します。
※再生が始まると、1件分の再生が終了するまで停止できません。

消去 **《消去ボタン》**
ボタンを2秒以上押すと、再生中の伝言を消去します。
消去後は1つ前に録音された伝言を再生します。
伝言がない場合は各種呼出および伝言再生の選択画面を表示します。

11月12日10:05　2/2
録音された時刻と件数を表示します。
例:11月12日10時5分　全2件中の最新の2件目を表示

消去 + **《全伝言消去》**
2つのボタンを2秒以上押すと、全伝言を消去します。

8-3 時刻の設定

カラーモニター付住宅情報盤の録画機能付モデルは、録画･録音される時の時刻を記録します。
時刻の設定は以下のように行ってください。

■時刻の設定方法

1 ◎【メニュー】のボタンを押します。
●メニュー画面を表示します。

2 ◎メニュー画面より【設定】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。

3 ◎【時刻設定】のボタンを押します。
●時刻設定画面を表示します。
※年が反転表示されています。

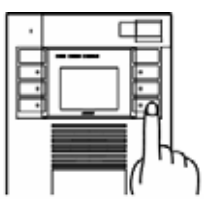
4 ◎【▲】(増加)のボタンまたは【▼】(減少)のボタンを押して、「年」を西暦で設定し、【決定】のボタンを押します。
●月が反転表示されます。

5 ◎【▲】(増加)のボタンまたは【▼】(減少)のボタンを押して、「月」を設定し、【決定】のボタンを押します。
●日が反転表示されます。

6 ◎【▲】(増加)のボタンまたは【▼】(減少)のボタンを押して、「日」を設定し、【決定】のボタンを押します。
●時が反転表示されます。

7 ◎【▲】(増加)のボタンまたは【▼】(減少)のボタンを押して、「時」を設定し、【決定】のボタンを押します。
●分が反転表示されます。

8 ◎【▲】(増加)のボタンまたは【▼】(減少)のボタンを押して、「分」を設定し、【決定】のボタンを押します。
●年が反転表示されます。



9 ◎時刻設定が終了したら【戻る】のボタンを押します。
●警報体験および各種設定の選択画面を表示します。

※【決定】のボタンを押すごとに、各設定が確定します。
※時刻を確認するときは【時刻設定】のボタンを押し、確認後【戻る】のボタンを押してください。

9 機器定格

型名	HAPGJ302-U-V	HAPGJ303-U-V	HAPGJ304-U-V	HAPGJ305-U-V
電源電圧	AC100V　50/60Hz			
消費電力	監視時:約12W　作動時:約22W　最大時:約30W(カメラ付ドアホン接続時)			
呼出音 (他の機器から 呼ばれた時) ※設定により変更 可能	■ドアホンから 電子チャイム音「ピンポンピンポン」 ■集合玄関機から 電子チャイム音「ピーンポーン　ピーンポーン」 ■カラーモニター付増設インターホンから 電子発振音「プー」 ■管理室から 電子チャイム音「ピンポンパン」			
音声警報 (主機能の鳴動音)	■火災音声・警報音 ファンフォンファンフォンファンフォン 火災感知器が作動しました。確認してください。 火事です火事です火災が発生しました。安全を確認のうえ 避難してください。ビュービュービュー 火事です火事です。 ○階/○階○○号室/この近所で火災が発生しました。 安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー □火災感知器断線音声・警報音 ピー　配線を確認してください。 ■ガスもれ音声・警報音 ピッピッピッピッピッピッ　ガスもれです。 □ガス漏れ検知器断線音声・警報音 ピー　配線を確認してください。 ■非常通報音声・警報音 ピーポーピーポーピーポー　緊急事態発生。			
通話方式	ハンズフリー自動交互通話方式			
主材・色	難燃性ABS樹脂・オフホワイト			
寸法	幅200×高240×奥行31mm			
質量	約1680g			

9 機器定格

型名	HAPGJ302-U	HAPGJ303-U	HAPGJ304-U	HAPGJ305-U
電源電圧	AC100V　50/60Hz			
消費電力	監視時:約9W　作動時:約20W　最大時:約30W(カメラ付ドアホン接続時)			
呼出音 (他の機器から 呼ばれた時) ※設定により変更 可能	■ドアホンから 電子チャイム音「ピンポンピンポン」 ■集合玄関機から 電子チャイム音「ピーンポーン　ピーンポーン」 ■カラーモニター付増設インターホンから 電子発振音「プー」 ■管理室から 電子チャイム音「ピンポンパン」			
音声警報 (主機能の鳴動音)	■火災音声・警報音 ファンフォンファンフォンファンフォン 火災感知器が作動しました。確認してください。 火事です火事です火災が発生しました。安全を確認のうえ 避難してください。ビュービュービュー 火事です火事です。 ○階/○階○○号室/この近所で火災が発生しました。 安全を確認のうえ、避難してください。ビュービュービュー □火災感知器断線音声・警報音 ピー　配線を確認してください。 ■ガスもれ音声・警報音 ピッピッピッピッピッ　ガスもれです。 □ガス漏れ検知器断線音声・警報音 ピー　配線を確認してください。 ■非常通報音声・警報音 ピーポーピーポーピーポー　緊急事態発生。			
通話方式	ハンズフリー自動交互通話方式			
主材・色	難燃性ABS樹脂・オフホワイト			
寸法	幅200×高240×奥行31mm			
質量	約1680g			

10 日常点検のお願い

■日常点検のお願い

皆さまの住戸内には、消防用自動火災報知設備として、共同住宅用住宅情報盤と火災感知器などが設置されています。(建物によってはスプリンクラー設備が設置されている場合もあります。)これらは自動的に火災を感知して、報知するための設備です。万一の火災に備え、常に正常に作動するよう、住戸内の設備についての日常の点検をお願いいたします。

●カラーモニター付住宅情報盤の電源が切れていないか？電源灯の点灯(緑色)を確認してください。

●カラーモニター付住宅情報盤や火災感知器が変形、損傷、脱落、著しい腐食などしていないか？

日常の点検でこのような異常があった場合は、すみやかに管理室、施工店などに連絡してください。

■火災警報機能の定期点検について

カラーモニター付住宅情報盤が、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備または共同住宅用スプリンクラー設備として設置されている場合、火災警報機能については法律に定められた6ヶ月ごとの定期点検が必要です。保守点検には専門的知識と技術を必要とするため、管理会社と契約を結んだ施工店などの消防設備士の資格を持った人が行います。

■ガス漏れ検知器の有効期限

ガス漏れ検知器は、有効期限として、その機能を維持する期間が定められています。期限が過ぎると正常に作動しない恐れがありますので、検知器の説明書・保証書に記載された保証規定、期限をお確かめのうえ、期限が来る前に管理会社・施工店などに依頼し、必ず交換してください。

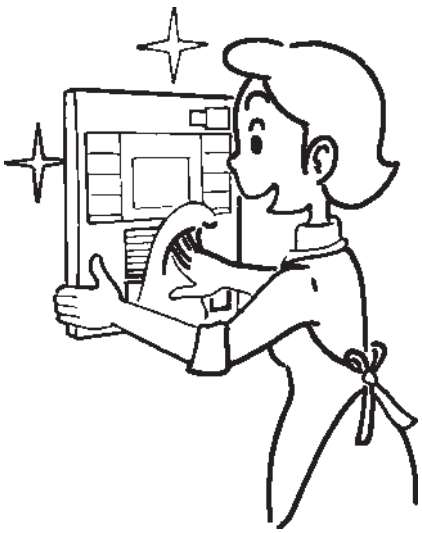
■故障かな？と思った時は

●正常な呼び出し、通話ができない時は、工事をされた施工店もしくは能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先へご連絡ください。

■日常のお手入れについて

●カラーモニター付住宅情報盤本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくい時は、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よくしぼってから拭いてください。
その際、本機に水などがかからないようご注意ください。

●ベンジン、シンナーなどの薬品は、機器の表面を傷めたり変色の原因となりますので使用しないでください。



警告

機器を分解・改造しないでください。
感電・故障・発火の原因となります。

11 アフターサービスについて

この製品には2年間の保証が付いています。故障と思われる場合は、取り付け工事をした施工店もしくは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。
機器保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。機器保証書は、大切に保管してください。

- **能美防災株式会社・CSサービスセンター　TEL:0120-102-408**
- 能美防災株式会社最寄りのお問合わせ先

修理を依頼される前に、下記事項をご確認ください。

◆製品名（型名）・お買い上げ日（お取り付け日）
◆故障または異常の内容
◆ご住所・お名前・電話番号
◆訪問ご希望日

※使用中、故障や誤動作、またはこれらの不都合により通話利用の機会を逸した場合の損害補償については、申し受けかねますのでご了承ください。

［補修用性能部品について］

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産中止後6年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。

警告

機器を分解・改造しないでください。
感電・故障・発火の原因となります。

MEMO

MEMO

NOHMI 能美防災株式会社

本　社／〒102-8277　東京都千代田区九段南 4-7-3　TEL. (03)3265-0211　FAX. (03)3264-4948
支　社／北海道(011)746-6911　東　北(022)221-2695　新　潟(025)243-8121　丸の内(03)3213-1781
茨　城(029)225-2600　千　葉(043)266-0303　北関東(048)642-0147　西関東(0426)27-4930
横　浜(045)682-4700　長　野(026)227-5521　静　岡(054)247-3211　名古屋(052)915-2411
金　沢(076)252-6211　大　阪(06)6330-8661　京　都(075)231-0128　神　戸(078)334-3581
広　島(082)263-7334　岡　山(086)244-4222　九　州(092)712-1560　熊　本(096)360-1051
営業所／旭　川(0166)35-7824　青　森(017)729-0532　盛　岡(019)645-0552　秋　田(018)862-5086
郡　山(024)933-5580　福　島(024)528-4195　上　越(0255)26-1886　羽　田(03)3747-6800
渋　谷(03)3461-1051　杉　並(03)3306-0451　城　東(03)3645-8300　城　北(03)5292-2137
五反田(03)3779-9737　土　浦(029)822-3851　宇都宮(028)637-4317　群　馬(027)328-1567
埼玉西(049)247-4640　川　崎(044)233-5773　沼　津(055)923-9669　浜　松(053)473-3422
岐　阜(058)276-7761　三　重(059)226-9860　富　山(076)425-1496　福　井(0776)21-0056
高　松(087)862-6012　徳　島(088)625-4325　松　山(089)974-2823　北九州(093)551-2588
長　崎(095)845-0135　大　分(097)543-2778　宮　崎(0985)28-8792　鹿児島(099)253-8196
沖　縄(098)862-4297
工　場／三　鷹(0422)44-5141　メヌマ(048)588-1531